

# 商 工 労 政 課

## ○ 商工関係

### 1 消費生活関連事業

架空請求や悪質商法、クーリングオフなど、増加する消費生活にまつわるトラブルに関し、簡易なものについては電話あるいは直接窓口にて相談者にアドバイスを行い、より専門性を求められる相談については、市広報広聴課の法律相談や三重県弁護士会、三重県消費生活センターをはじめとする各種の相談窓口の紹介を行った。

消費生活相談総件数	231 件
-----------	-------

### 2 多重債務相談

多重債務に陥っている人の債務整理や生活再建のため、三重県多重債務者対策協議会と共同で、司法書士と弁護士による多重債務無料相談会を開催した。

- ・ 日 時 平成 21 年 10 月 31 日（土）午前 9 時 30 分～午後 4 時
- ・ 場 所 伊勢市役所
- ・ 相談件数 9 件

### 3 融資対策事業

小規模事業者に対する資金運営円滑化を図るため、三重県の融資制度である小規模事業資金等の貸付を受けた事業者に対して、保証料の補給または利子の補給補助を行った。

#### （1）小規模事業資金融資保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成 19 年以降に小俣町商工会の斡旋により、三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。

件数	保証料補給補助金額	取扱金融機関名
218 件	12,266,535 円	百五銀行、第三銀行、三重信用金庫、中京銀行ほか

#### （2）商工制度資金利子補給事業補助金

平成 18 年 12 月末までに小俣町商工会の斡旋により国・県の制度融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じ利子の補給補助を行った。

件数	利子補給補助金額	取扱金融機関名
15 件	109,737 円	百五銀行、第三銀行、中京銀行 日本政策金融公庫

(3) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、営業不振や取引先の倒産などで緊急の事由により資金需要が発生した際に、一定要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠で信用保証による新たな融資が受けられるように、「特定中小企業者」として認定し、中小企業者の資金調達の円滑化を図った。

認 定 要 件	認定件数	根 拠 法 令
全国的に業況の悪化している業種に属する中小企業者	件 527	中小企業信用保険法第2条第4項第5号

4 物産販売促進事業

(1) 物産展等への出展

協同組合三重県物産振興会及び伊勢市産業振興会と連携して全国の物産展等に出展し、販路の開拓及び特産品の宣伝に努めるとともに、伊勢の物産を紹介した観光パンフレット等を広く配布し、PRに努めた。

※物産展等の状況

開 催 日	開 催 場 所	名 称
21. 4. 7 ～ 4.13	(株) 三越 池袋店	第16回三重のふるさと展
21. 4.23 ～ 4.27	(株) 豊橋丸栄	三重県の物産展&大パールフェア
21. 9.23 ～ 9.28	(株) 津松菱百貨店	第7回ふるさと三重物産展
21.10.14 ～10.22	(株) 三越 日本橋本店	第53回旬味まるごと三重展
21.11.17 ～11.23	(株) 沖縄三越	第1回三重の物産展 &伊勢・志摩パールフェア
21.12.16 ～12.18	(財) 地域活性化センター 日本橋プラザイベント広場	伊勢市主催 「美し国 伊勢の観光と物産展」
22. 1.14 ～ 1.19	(株) 福屋 広島駅前店	第10回 伊勢志摩パールフェア
22. 1.28 ～ 2. 3	(株) 岡島(甲府市)	第11回三重県・紀伊半島の 物産展
22. 2.15 ～ 2.22	(株) うすい百貨店 (郡山市)	第9回三重県の物産展
22. 3.11 ～ 3.16	(株) 京王百貨店 新宿店	日本味まつり &伊勢・志摩パールフェア

(2) 販売業者等に対するセミナーの開催

伊勢志摩地域で活動する販売業者等の質的向上を図るため、伊勢中小企業相談所、伊勢市産業振興会、伊勢志摩地区観光土産品公正取引協議会の共催により、その会員向けに営業活動に関するセミナーを開催した。

開催日	開催場所	内容	参加者数
21. 9. 9	伊勢商工会議所 5階大ホール	営業実践セミナー 「売上げを伸ばす」営業ツール ～営業戦略3つのポイント～	43名
22. 3. 19	伊勢商工会議所 5階大ホール	営業実践セミナー 売る前に売れる 「速効自己プロデュース」	37

5 中小企業振興対策

中小企業の経営改善及び経営強化を支援するため、伊勢商工会議所内にある伊勢中小企業相談所及び小俣町商工会の実施する事業に要する費用に対して、補助金を交付した。

助成団体	事業内容	補助金額
伊勢商工会議所 中小企業相談所	中小企業等に対する ・講習会、セミナーの開催 ・融資相談、経営指導、金融の斡旋 ・創業相談、労働保険相談 など	円 9,500,000
小俣町商工会	中小企業、個人商店等に対する ・経営指導や記帳指導 ・決算、年末調整、消費税申告指導 など	7,200,000

6 伊勢志摩総合地方卸売市場貸付金

卸売市場の経営安定を図ることにより、消費者への生鮮食料品の安定供給と地元生産者の安定的な販路の確立を図る。

- ・貸付目的 運転資金
- ・貸付金 18,000千円(平成21年分)
- ・貸付利率 無利息
- ・貸付期間 平成10年度～平成21年度(12年間)  
(合計 216,000千円)
- ・返済方法 一括返済又は分割

7 新道モニュメント時計撤去工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
宮後2丁目 地内	新道モニュメント時計撤去工事	モニュメント撤去 1箇所 制御盤撤去 1箇所 スポットライト撤去 2箇所 他	円 525,000	21.10.29	21.11.27

8 商店街等振興対策事業

伊勢市商店街連合会が伊勢商工会議所・小俣町商工会と連携を図り、市内の中小小売店及び飲食店等から参加加盟店を募り、定額給付金の支給による市民の消費意欲を商店街等へ誘導するプレミアム優待セールを実施した振興対策事業に対して、補助金を交付した。

助成団体	事業内容	補助額
伊勢市商店街連合会 プレミアム優待セール 実行委員会 (参加店舗 531店)	・プレミアム優待セール (H21.5.15~6.14) ・プレミアム商品券抽選会 (H21.6.20) (商品券使用期間 H21.7.1~9.30)	円 12,262,903

9 地域資源活用構想策定事業

伊勢商工会議所が、地場産業の活性化や新産業創出を目的とした伊勢ブランド創出チームを組織し、地域に散在する地域資源の発掘と再評価を行うとともに、「伊勢ブランド戦略構想」を策定し取り組んでいく事業について、補助金を交付した。

助成団体	事業内容	補助額
伊勢商工会議所	伊勢ブランド創出チームを組織し、地域資源活用フォーラムやワークショップ等を行い、地域資源を生かした地場産業新商品や市場開拓への戦略構想の検討を行った。	円 450,000

10 中心市街地活性化推進事業

(1) 空店舗対策事業

中心市街地商店街の集客力及び機能回復を促進することを目的に、市がいせTMO（事務局：商工会議所）が実施する「空店舗活用モデル事業」、「テナント確保支援事業」、「チャレンジショップ事業」に補助金を交付した。

これらの事業は、店舗開設希望者の創業及び経営支援となるばかりでなく、商店主の意識向上や商店街における賑わいの創出にも繋がっている。

ア 空店舗活用モデル事業

商店街名	名称	開設日	補助金額
高柳商店街	ふくふく館	平成 20 年 3 月	円 597,508
外宮参道発展会	外宮ひだまり処	平成 20 年 3 月	385,000
計			982,508

イ テナント確保支援事業

	商店街名	店舗名	業種	補助金額
継続	新道・高柳	アクア	コインランドリー	円 60,000
	新道商店街	ライフサロン	保険業	252,000
	計			312,000

ウ チャレンジショップ事業

	商店街名	店舗名	業種	補助金額
新規	伊勢市駅前	マチャロック	衣料品、雑貨	円 166,665
	めいりん村	銀G郎	飲食	630,000
	新道商店街	イリス	エステ	166,665
		(改装費)	—	168,000
	新道・高柳	(改装費)	—	454,650
計			1,585,980	

(2) TMO構想推進協働事業

中心市街地を活性化させるためには、賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場としての再生が求められており、地域住民や商店街等の相互の連携と協力が重要であることから、まちづくりに取り組む活動拠点及び「いせTMO」の活動拠点を中心市街地に移設し、地区住民、商業者、商工会議所等との連携を強化させながら、賑わい創出のまちづくりを展開してきた。

また、中心市街地PR事業として、各種イベントの開催やチャレンジショップの公募などの情報発信を行った。

(3) 各種調査事業

ア 空店舗調査

商店街名	平成 21 年 2 月			平成 22 年 3 月			前回比
	商店数	閉店数	閉店率	商店数	閉店数	閉店率	
伊勢市駅前	件 63	件 33	% 52.4	件 63	件 33	% 52.4	% 0.0
新道商店街	140	29	20.7	139	26	18.7	2.0
高柳商店街	65	12	18.5	63	11	17.5	1.0
浦之橋商店街	68	15	22.1	65	14	21.5	0.6
めいりん村	55	18	32.7	56	22	39.3	△6.6
計	391	107	27.4	386	106	27.5	△0.1

イ 商店街歩行者通行量調査

調査日 平成22年2月20日(土)、27日(土) 午前9時から午後6時

商店街名	調査地点	平成20年度 天気：晴れ	平成21年度 天気：晴れ	増減
めいりん村	南入口	人 492	人 517	人 25
	西入口	854	605	△ 249
	観光文化会館前	442	468	26
外宮参道 発展会	シャレオサエキ前	2,259	1,990	△ 269
	足立ビル前	659	674	15
	伊勢駅前ビル跡地東側	2,219	1,904	△ 315
	伊勢市駅前	334	282	△ 52
	伊勢駅前ビル跡地西側	1,048	1,088	40
伊勢市駅前 商店街	旧三交百貨店裏	673	372	△ 301
	伊勢ビル前	341	271	△ 70
	伊勢ビル前鉄道側	1,150	1,039	△ 111
	相可屋楽器店前	509	292	△ 217
新道商店街	東入口付近	1,072	916	△ 156
	東	1,121	900	△ 221
	中央	983	990	7
	西	884	668	△ 216
さくら通り 発展会	二富士前	663	162	△ 501
新町商店街	山甚ビル前	560	585	25
栄町商店会	中央	229	193	△ 36
高柳商店街	東	1,239	946	△ 293
	中央	1,248	1,044	△ 204
浦之橋商店街	東入口付近	1,249	1,226	△ 23
	東	1,064	1,513	449
	西	861	753	△ 108
筋向橋	渡辺石油前	563	444	△ 119
二俣通り	出崎屋前	791	879	88
総 数		23,507	20,721	△ 2,786

(4) 商業まちづくり補助金事業

中心市街地商店街、またはこれに類する団体の発展及び活性化を図ることを目的として、地域と一体になって消費者に魅力ある商店街づくりのために実施するいせTMO事業に補助金を交付し、事業(提案型)に対し補助金を交付した。

選定団体	事業名	補助金額
伊勢銀座新道商店街振興組合	しんみち花いっぱい事業	円 350,000
伊勢高柳商店街振興組合	商学(商店街と高校)連携イベント	350,000
計		700,000

## ○ 労政関係

### 1 雇用対策事業

#### (1) 若年求職者等支援事業

伊勢地域の雇用情勢は引き続き厳しい状況が続いており、また、求人と求職のミスマッチも大きく、併せて、若年者の雇用も厳しい状況にある。

この状況に対応するために、カウンセリング事業及び有識者によるセミナーを開催し、若年求職者に対する各種情報提供や相談業務を行い、早期就職の支援に努めた。

#### ○ カウンセリング事業

- ・ 実施期間 平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月（原則毎週火曜日）  
おしごと広場みえ（三重県）と共同で開催
- ・ 委託先 社団法人日本産業カウンセラー協会中部支部三重事務所
- ・ 委託料 448,561 円
- ・ 実績 相談件数 117 件（うちカウンセリング件数 延べ 81 件）

#### (2) 緊急雇用創出事業

現下の厳しい雇用情勢に対処するため、短期的な雇用・就業機会の創出を目的として、12 事業を実施した。

事業名	担当課	内容	新規雇用のべ人数
市内図書館施設未データ化図書登録事業及び図書整理事業	生涯学習・スポーツ課	ハートプラザみその児童館図書室及び二見公民館図書室所蔵図書のデータ化とブックコーティング、傷んだ図書の廃棄等を行った。	5人
歴史的資料等整理事業	文化振興課	旧市川造船所資料（船具資料）の調査・整理作業（資料の清掃、分類、写真撮影、カード作成、データ入力）を行った。	5人
外国人児童生徒支援事業	学校教育課	日本語支援が必要な外国人児童生徒に対して、日本語指導や授業の補助など学習面でのサポート、母国と日本の文化や生活習慣の違いについて理解を深めるための生活相談、学校と保護者との連絡が円滑に行えるように通訳等を行い保護者の理解を深めるなど、学校生活の支援を行った。	4人
二見浦公園区域管理事業	二見総合支所地域振興課	「名勝二見浦」の繁忙期である8～11月の4ヶ月間（実施期間：平成21年8月5日～11月30日）、二見浦公園周辺の交通案内ほか業務を委託することにより、地域の安全確保、渋滞の緩和、観光客の利便性向上を図った。	5人
住宅用火災警報器普及啓発事業	消防本部予防課	住宅火災による死傷者の発生を防ぎ、市民の安心・安全を確保するため、中心市街地における住宅用火災警報器設置の普及啓発を実施した。	3人
防火対象物施設データ整理事業	消防本部予防課	消防法の改正による項目変更及び規制内容の変更等に対応するため、届出・許認可事務の記録となる防火対象物施設の台帳データを整理した。	1人

防犯灯等台帳作成事業	危機管理課	防犯灯等の設置場所等をデータ化し、位置図及び台帳の作成業務を行った。	3人
遊休農地対策事業	農林水産課	今後の遊休農地活用に資するため、耕作放棄地を現地調査した。	2人
林業振興事業	農林水産課	林道のパトロールを行い、放置することにより災害や事故に結びつく可能性のある箇所が無いかを確認するとともに、落石や落葉等により路面が汚れている箇所の清掃を行った。	2人
森林病虫害防除事業	農林水産課	景観の向上及び海岸の防風林(松林)の機能維持保全を図るため、林内にある伐倒くん蒸処理された処理木を集積し、処理場へ搬出するとともに、撤去後の清掃を実施した。	4人
伊勢市宇治山田港旅客ターミナル管理及び草刈業務	交通政策課	伊勢市宇治山田港旅客ターミナルの開館に伴い、管理業務(門扉、ターミナル建屋、施錠管理・来客者の対応及び展示物の管理・電話等の連絡対応等)及び緑地帯の草刈業務を実施した。	6人
伊勢市コミュニティバス乗込み利用実態調査	交通政策課	コミュニティバスに関する意見、要望等を広く集めるため、バス利用者にアンケートを実施し、今後のバス事業に反映するための調査を行った。	5人
合 計			45人

### (3) ふるさと雇用再生事業

現下の厳しい雇用情勢に対処するため、今後の地域発展に繋がり、安定・継続的な雇用を創出することを目的として、2事業を実施した。

事業名	担当課	内 容	新規雇用のべ人数
伊勢市観光推進事業	観光企画課	観光客誘致の推進のため、市内の観光情報を総括する地元密着型のホームページを作成した。	2人
観光地における災害避難マニュアル作成モデル事業	観光企画課	市内最大の観光地「おほらい町」で災害発生時に観光客、従業員および住民がスムーズに避難するためのマニュアル作成の基礎調査業務として来訪者等の情報整理、詳細調査及びワークショップを開催した。	4人
合 計			6人

## 2 勤労者福祉事業

### (1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金

中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、伊勢市、鳥羽市、玉城町で構成する(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターに補助金を交付している。

当初は、平成10年に、伊勢市、鳥羽市、二見町、小俣町、玉城町及び御菌村の2市・3町・1村で任意団体として広域設立されたが、社会的信用性の確保と公益性を明確にするために平成15年に社団法人化、その後、平成17年の市町村合併を経て、現在に至っている。



○実施事業

- ・生活安定事業、健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催、余暇活動事業、自己啓発事業 など

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社)伊勢・鳥羽・度会地域 中小企業勤労者福祉サービ スセンター	八日市場町13番13号 (サンライフ伊勢内)	23,912,000円 うち伊勢市負担金 10,300,000円
会員事業所数	636事業所	
登録会員数	3,994人	

※事業所数、会員数は平成22年3月末現在

(2) 勤労者ふれあい事業

(社)伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、「'09 勤労者ゆとりフェスティバル」を10月11日(日)に県営サンアリーナを会場に開催した。

当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約25,000人の参加があり、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。

3 高年齢者労働対策事業

(1) 高年齢者労働能力活用事業費補助金

高齢化社会が急速に進む中、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した(社)伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社)伊勢市シルバー人材センター	伊勢市河崎1丁目4番35号	18,743,000円

なお、平成22年3月末の活動状況は次のとおりであった。

会 員 数	延べ就業人数	受 託 件 数	契 約 金 額
910人	75,172人	3,666件	328,523,351円

(2) 高齢者生活援助サービス事業費補助金

(社)伊勢市シルバー人材センターは、伊勢市健康福祉部長寿課から「伊勢市軽度生活援助事業」を受託し、日常生活に援助が必要な高年齢者に対して、在宅での自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を予防するサービスの提供を行っている。

この事業等の高齢者生活援助サービスの実施に必要な介護講習や教材費、コーディネーターの謝金に係る費用を補助することにより、シルバー会員の就業支援だけでなく、シルバー人材センターの「福祉の受け手から担い手」としての体制づくりを支援した。

名 称	所 在 地	補助金額
(社) 伊勢市シルバー人材センター	伊勢市河崎 1 丁目 4 番 35 号	2,375,000 円

なお、平成 22 年 3 月末の活動状況は次のとおりであった。

登録会員数	延べ就業人数	受託件数	契約金額
92 人	9,649 人	789 件	38,419,720 円

#### 4 サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢は、平成 18 年 9 月から指定管理者制度に移行し、(社) 伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施してきた。

指 定 管 理 者	指 定 管 理 料 (平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月分)
(社) 伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	5,582,000 円

#### ○ 運営状況

##### ア 利用件数及び利用者数

区 分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 439	件 256	件 632	件 347	件 833	件 20,703	件 23,210
利用者数	人 4,417	人 1,814	人 19,383	人 4,391	人 20,305	人 20,703	人 71,013

##### イ 利用料収入

区 分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
21. 4～22. 3	12,960,375 円	509,170 円	653,040 円	14,122,585 円

##### ウ 自主事業

区 分	講座の種類と講座数	講座回数	のべ受講者数
趣味づくり	11 種 13 講座	353 回	9,478 人
健康づくり	7 種 8 講座	310 回	7,612 人
計	18 種 21 講座	663 回	17,090 人

5 労働福祉会館管理運営事業

(1) 伊勢市労働福祉会館運営委員会

三重県伊勢庁舎の建替えに伴う移転の問題と、新労働福祉会館の改修計画等について、労働福祉会館運営委員会を開催し、協議を行った。

平成 21 年 5 月 25 日 新労働福祉会館のあり方について  
 平成 21 年 7 月 21 日 新労働福祉会館の改修計画について  
 平成 21 年 10 月 19 日 新労働福祉会館の詳細設計について

・組 織

委 員 長 副市長  
 副委員長 産業観光部長  
 委 員 労働者を代表する者 4 名  
           公益を代表する者 4 名  
           市職員を代表する者 2 名

(2) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
勢 田 町 地 内	(注) 新伊勢市労働福祉会館改修設計業務委託	鉄骨造 3 階建 延べ面積 804.14 m <sup>2</sup>	円 997,500	21.8.7	21.11.13

(注) 建築住宅課施行

6 伊勢市やすらぎ公園プール

やすらぎ公園プールを開設し、勤労者の福祉の増進と利用者の体力の向上を図った。

(1) 開設状況

ア 開設期間 平成 21 年 7 月 1 日～8 月 31 日 (通常営業 45 日間)

イ 有料入場者数

区分 月別	大 人	小 人	付添人	計	超過利用者
7 月	人 1,725	人 2,657	人 503	人 4,885	人 80
8 月	2,054	3,922	801	6,777	52
合 計	3,779	6,579	1,304	11,662	132

ウ 入場料収入

区分 月別	大 人	小 人	付添人	超過利用者	計
7 月	円 507,450	円 530,500	円 49,980	円 4,000	円 1,091,930
8 月	616,200	784,400	80,100	2,600	1,483,300
合 計	1,123,650	1,314,900	130,080	6,600	2,575,230

エ 利用料収入

ロッカー利用料	284,600 円
---------	-----------

7 融資対策事業

(1) 勤労者持家促進資金貸付金制度

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が、市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。なお、協調融資期間は10年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高
1 件	5,000,000 円	5,000,000 円	2,492,765 円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫より返還された。

(2) 勤労者教育資金貸付金制度

市内に居住する勤労者がその親族に必要な教育資金について、東海労働金庫が実施する教育資金貸付を利用した場合、その利子を軽減することにより、勤労者の負担の緩和を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。なお、協調融資期間は4年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高
0 件	0 円	1,690,000 円	352,851 円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫より返還された。

# 産 業 支 援 課

## ○ 企業立地推進事業

### 1 企業誘致活動の推進

各種企業展への参加及び、企業立地支援センター等を訪問し、立地に関する企業ニーズ、先進事例の情報把握に関する活動を実施した。また、県内・市内企業にも目を向け、工場新設及び増設計画の動向調査の実施や、下野工場団地組合や市内高等学校同窓会等各種団体を訪問し、情報収集するとともに企業の工場進出について協力を依頼した。

## ○ 企業立地推進一般経費

### 1 企業立地研修会等への参加

地域活性化につながる企業立地を一層推進するため、研修会等に参加し、職員の資質を高め、情報収集に努めた。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
21. 5. 25	三重県企業立地セミナー	津市	三重県 今年度の企業誘致の進め方について
21. 11. 11・12	第115回産業立地研修会	東京都	(財)日本立地センター 企業立地と今後の展望
21. 11. 16	「企業誘致フェア2010」記念 講演・開催説明会	東京都	(社)日本経営協会 地域活性化のための企業誘致戦略
21. 11. 17	産業立地推進研究会	東京都	(社)日本経営協会 企業立地動向と誘致戦略

### 2 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町 地内	(注) サンサポートスク エア照明灯設置工 事	照明灯設置 N=5基	円 2,545,200	21. 9. 11	21. 12. 15

(注) 農林水産課施行

## ○ 工場等誘致奨励事業

### 1 工業団地ならびに工場等誘致奨励制度の周知

サン・サポート・スクエア伊勢並びに、神菌工業団地への誘致・誘導を推し進めるため制定した伊勢市指定団地企業立地促進条例（平成20年4月1日施行）、伊勢市内共通の伊勢市工場等誘致奨励条例による優遇制度について、伊勢市ホームページ等に掲載したほか、市内高等学校のホームページに企業誘致のバナー掲載の協力を依頼するなど、周知に努めた。

## 2 工場等誘致奨励金の交付

本市の区域内に工場等を設置することを奨励し、本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、事業者の設置する工場等が操業を開始した後、最初に固定資産税が賦課される翌年度から3年間に亘り、固定資産税額の100%、75%、50%を工場等誘致奨励金として交付する。また、臨時の特例措置に該当する事業所にあつては、投下固定資産額の10%を奨励金として交付した。

奨励金の交付金の額の決定にあたっては、委員長を副市長とする審査委員会で審査したうえで決定した。

事業者名	交付決定額	概要
(有)森井工業	1,421,000 円	(注1) 伊勢市工場等誘致奨励条例(初年度)
京セラ(株)	149,838,000 円	(注2) 伊勢市工場等誘致奨励条例の臨時の特例措置に関する条例

(注1) 1事業者に対し、3年間交付する。

(注2) 平成20年3月31日に廃止になった時限措置。

## ○ 産業支援推進事業

### 1 新産業創出支援事業補助金の交付

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者の団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、補助金を交付し、地場産業の活性化と企業力の強化を図った。

補助金の交付金額の確定にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査会で事業経過及び実績等を審査したうえで決定した。

事業者名	交付確定額	事業内容
(株)ホーペック	1,526,000 円	柵取付用FRP製侵入防止パイプ研究開発事業
(有)若松屋	961,000 円	あわびの肝を利用した新商品開発
(有)パイン・メディテック	2,000,000 円	伊勢伝統薬(萬金丹)開発
東洋工業(有)	2,000,000 円	ワイヤー断線検知器の開発

### 2 伝統工芸品等再生支援事業補助金の交付

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付し、伝統工芸の育成支援に努めた。

事業者名	交付確定額	事業内容
伊勢春慶の会	200,000 円	塗り師育成と道具類の整備事業

### 3 (株)三重TLOへの加入

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進している(株)三重TLOに継続加入し、地元企業が学術機関へ技術相談したり、共同開発研究するための橋渡しを行うとともに、産学官連携の拠点と位置づけている。

また、地元企業の人材確保の足がかりとして、7月7日と9月15日16日に三重大学と協力する形で、三重大学工学部の学生を対象に地元企業の見学会を開催し、企業概要や独自技術を学生にPRする場を地元企業に提供し、将来の雇用につながるよう努めた。

### 4 関係機関との連携のための情報収集

国・県・大学や高等専門学校をはじめとする支援機関・研究機関などと連携し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、これら機関と支援体制の繋がりを太くした。

また、伊勢商工会議所については、企業支援の面における役割分担を明確にする中で、さらに密接な連携を図るとともに産業支援の研究会である「産業支援センター分科会」において支援事業等の検討を定期的に行った。

### 5 伊勢市中小製造業のマーケティング力強化に向けた調査研究

伊勢市産業支援センターにおける既存支援策の見直しと新たな支援策導入を検討するため、(財)中小企業総合研究機構に依頼し、伊勢市内と中部・近畿圏に立地する機械金属関連事業所の実態調査を協同で行った。これをもとに、地域の中小製造業が自社技術の高度化や開発力を強化したり、取引の広域展開や分散化を図るための方向性と具体的展開、支援方策の提案を受けた。

調査研究を進めるにあたっては、地域企業、支援機関及び関係業界の委員で構成される地元意見交換会を設置し、意見を幅広く伺い、それを参考に調査を進めた。

### 6 伊勢市産業支援センター運営協議会

伊勢市産業支援センターの円滑かつ適正な運営を図るため、地元企業や関係団体などから構成される運営協議会を開催し、地域企業の意見を施策に反映したり、関係団体との連携・調整に努めた。また、適宜勉強会を開催し、活発な意見交換に努めた。

### 7 企業支援情報の発信

市内中小製造業に対して、伊勢市産業支援センター、及び関連機関の企業支援に関する情報を、メールマガジンとダイレクトメールにて情報提供を行った。

情報提供方法	情報提供企業数	送付件数
メールマガジン(Eメール)	約160社	25回
ダイレクトメール(郵送)	約630社	4回

## ○ ものづくり推進事業

### 1 企業支援員によるマッチング事業

市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、製造業者個々の課題を把握し、その解決に向け、関連支援機関等への橋渡しや各種支援策の紹介を行い、企業の円滑な事業活動を支援する「企業支援員」3名を採用した。

### 2 食品事業所を対象としたアンケート

地域の食品を扱う事業所に対する支援方法を検討するため、10月に市内の食品業者285社を対象にアンケートを送付し意見を聞いた。

### 3 企業データベース、企業カルテの整備

伊勢市内に立地する製造関連の事業所・企業をホームページ上で紹介する「ものづくり企業データベース」を設けて、情報発信の支援を行った。

また、企業支援を行っていくうえで必要な情報を職員間で共有するため、企業の住所・業務内容・取引先などの基礎情報を集約した「企業データベース」と、企業訪問やこれまでの支援経過を記録した「企業カルテ」の整備を進めた。

### 4 技術講習会・講座等の開催

#### (1) 漆芸講座

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、蒔絵・拭漆・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法に取り組んだ。（昭和61年5月から開催）

ア 開催日 毎週1回程度

イ 講座回数 47回

ウ 開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室

エ 講師 元神宮司庁 神原 佑司 氏

オ 受講者数 延べ338人

#### (2) 伊勢春慶塗り教室

ア 開催日 平成21年10月28日（水）～12月16日（水）の期間における  
毎週水曜日 全8回

イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室

ウ 講師 伊勢春慶塗師 木下 達 氏

エ 受講者数 6人

#### (3) 木工講座

市内の木工産業の振興を目的に、優れた木工技術を持つ技術者の育成を図るために行い、木工の技術・技法の習得、木工道具の仕込みの習得のための指導を行った。

ア 開催日 月2回

イ 講座回数 22回

ウ 開催場所 伊勢市産業支援センター 作業実習室

エ 講師 井坂家具 井坂 益水 氏

オ 受講者数 11人



## 5 ものづくりセミナーの開催

### (1) ものづくり技術講座（ISO）

- ア 開催日 平成 21 年 4 月 7 日（火）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ ISO9001：2008 規格改訂セミナー
- エ 講師 (株)ブライツ・ワン 代表取締役 橋本 寿士 氏
- オ 受講者数 42 人

### (2) ミームス普及講座

- ア 開催日 平成 21 年 6 月 23 日（火）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ ミームス普及講座～無理なく始める環境経営～
- エ 講師 (社)ミームス認証機構 田中 正一 氏 吉岡 正之 氏
- オ 受講者数 33 人

### (3) ホームページ作成基礎講座

- ア 開催日 平成 21 年 7 月 8 日（水）、15 日（水）、22 日（水）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ ホームページ作成基礎講座～自社のホームページを作ってみませんか～
- エ 講師 (有)オフィスパティ 深谷 光子 氏
- オ 受講者数 6 人

### (4) ものづくり技術講座（多軸・複合工作機械）

- ア 開催日 平成 22 年 1 月 22 日（金）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ 多軸・複合工作機械の基礎と利用技術
- エ 講師 東京農工大学 教授 堤 正臣 氏
- オ 受講者数 13 人

### (5) 製造管理者向け生産管理セミナー

- ア 開催日 平成 22 年 2 月 12 日（金）
- イ 開催場所 伊勢商工会議所 5 階大ホール
- ウ テーマ トヨタ生産方式とは何か？ ～ムダが見える現場の見方～
- エ 講師 たかし. K-アソシエイト 代表 金森 孝 氏
- オ 受講者数 100 人

### (6) ポジティブ・アクション実践研修

- ア 開催日 平成 22 年 3 月 29 日（月）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 講師 (株)ザ・アール 専属講師 杉浦 いつみ 氏
- エ 受講者数 22 人

## 6 企業セミナーの開催協力・支援

### (1) ミームス構築講座

- ア 開催日 平成 21 年 8 月 4 日 (火)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ ミームス構築講座
- エ 講師 (社)ミームス認証機構 吉岡 正之 氏
- オ 受講者数 4 人
- カ 主催者 (社)ミームス認証機構

### (2) 製造管理者育成講座

- ア 開催日 平成 21 年 9 月 25 日 (金) ~12 月 25 日 (金) 全 11 日間
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室  
シンフォニアテクノロジー(株) 能力開発センター
- ウ テーマ 職場管理の基本、食品管理、品質管理、現場のコストダウン、生産管理、モノづくりと能力開発、生産職場の問題解決、企業における I T の利活用
- エ 講師 シンフォニアテクノロジー(株) 能力開発センター 村山 昌彦 氏  
市民生活協同組合ならコープ 有識者理事 上田 修 氏  
(有)食品衛生研究会 取締役 近藤 武志 氏  
(財)三重県産業支援センター 小澤 二二雄 氏  
鈴鹿高専・鳥羽商船高専 客員教授 澄野 久生 氏
- オ 受講者数 29 人
- カ 主催者 (財)三重県産業支援センター

## 7 受託試験 (各種材料試験)

F R P 新造船の材料試験 (船舶安全法により、F R P 特殊基準が定められており、12m 以上の F R P 新造船は、日本海事協会 (N K) 検定承認を受けた試験機による検査が義務付けられている。) などを行った。

試験件数 21 件

## 8 専門家派遣支援事業補助金の交付

財団法人三重県産業支援センターが実施する専門家派遣事業を活用する市内中小企業者に対し、その費用の一部について予算の範囲内で補助金を交付した。

事業者名	交付確定額	事業内容
(有)長谷川工業所	45,000 円	工場内の 5S (整理・整頓・清掃・清潔・躰) 運動の推進
(株)美や稀	45,000 円	新商品開発への支援
ハシテツ(株)	45,000 円	工場内の 5S (整理・整頓・清掃・清潔・躰) 運動の推進
(有)ホーペック	45,000 円	IS09001 の取得のための指導

## 9 職員の技術向上研修

伊勢市産業支援センターの施設管理、及び市内製造業者への支援のための情報収集のため、研修会等に参加し、職員の資質を高める。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
21. 9. 14	地域が応援するキャリアアップセミナー	津市	地域が応援するキャリアアップセミナー運営委員会
21. 9. 16・17	木材加工用機械作業主任者技能講習会	津市	林業・木材製造業労働災害防止協会三重県支部 木材加工機械の取り扱い等
21. 10. 21	知的財産フォーラム in 津	津市	日本弁理士会・日本弁理士会当会支部・三重県 イノベーションの促進に向けて
21. 10. 22・23	全日本科学機器展 in 大阪 2009	大阪府	日本科学機器団体連合会 科学機器の展示会
21. 10. 23	第3回OB活用全国会議	大阪府	A T A C 元大手企業の技術系職員OBから企業支援の方法を学ぶ
21. 12. 01	第3回ITスキルアップセミナー	松阪市	(財)三重県産業支援センター SEO対策の手法

## 10 木工機械、試験機器等の開放

支援の内容	件数
木工機械の使用	14件
化学分析機器の使用	17件
その他の機器	9件

## ○ 起業支援推進事業

### 1 創業支援員の配置

新しい事業の実現のため、起業家とともに課題を分析し、解決のための手法の提案や、経営・財務など専門家との連携など、起業家の事業家活動を総合的にサポートする創業支援員を配置するため、民間企業に業務を委託した。

- ア 委託事業名 創業支援員の業務委託
- イ 委託期間 平成21年6月1日から平成22年3月31日まで
- ウ 実施場所 伊勢市産業支援センター
- エ 契約金額 4,577,200円
- オ 委託先 (株)アーリー・バード

2 起業家支援室の使用実績

事業者名または個人名	使用期間	事業内容
(有)パイン・メディテック	平成 20 年 4 月から	伊勢(三重)の伝統薬の開発・販売
(株)ネットステップ	平成 20 年 4 月から	通信の総合監視・管理システムの研究開発
貫じん堂	平成 21 年 4 月から	地元産業の企画・広報・営業支援事業
合同会社 X-TREME COMPOSITE JAPAN	平成 21 年 4 月から	模型飛行機の輸入販売やイベント企画、産業用飛行機の組立・販売
KickSmash21	平成 21 年 4 月から	地域番組・CM 制作、ホームページ制作

3 起業準備支援室の使用実績

使用者名	使用期間	事業内容
谷水 佐久也	平成 21 年 4 月から 平成 22 年 3 月まで	照明・表示システムの開発・製造・販売
吉川 貴人	平成 21 年 4 月から 平成 21 年 9 月まで	航海士の経験を活かしたコンサルティング及び研修事業
ホームページ制作 UNION	平成 21 年 2 月から 平成 22 年 1 月まで	ホームページ制作・WEB システム開発・パソコン出張サービス
(株)ブライツ・ワン	平成 21 年 4 月から 平成 22 年 3 月まで	社内情報を活用したコンサルティング及び研修事業

4 セミナー、イベント等の開催

(1) 起業セミナー「みんなが主役だ in 山商」(1 日目)の開催

- ア 開催日 平成 21 年 9 月 7 日 (月)
- イ 開催場所 三重県立宇治山田商業高等学校
- ウ 内 容 企業の存在意義、経営の要点などについて
- エ 講 師 創業支援員 三田 泰久 氏
- オ 受講者数 20 人

(2) 起業セミナー「みんなが主役だ in 山商」(2 日目)の開催

- ア 開催日 平成 21 年 11 月 16 日 (月)
- イ 開催場所 三重県立宇治山田商業高等学校
- ウ 内 容 起業する上での法令、税制について
- エ 講 師 創業支援員 三田 泰久 氏
- オ 受講者数 20 人

(3) 起業啓発セミナー「それぞれのキャリアデザイン」の開催

- ア 開催日 平成 22 年 3 月 6 日 (土)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 内 容 男性・女性・シニア・若者それぞれの自分らしい生き方を考える
- エ 講 師 キャリアフェイス 代表 山口 友美 氏
- オ 受講者数 23 人

## 5 セミナー、イベント等の開催協力・支援、及び出展

### (1) 団塊世代をはじめとする高年齢者再就職のためのセミナーへの協力

- ア 開催日 平成 21 年 8 月 27 日 (木)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター
- ウ テーマ 再就職支援セミナー、新分野チャレンジ交流会、起業支援セミナー
- エ 講師 (社)三重県シルバー人材センター連合会 佐野 元武 氏  
産業支援課長 渡邊 実  
創業支援員 三田 泰久 氏  
起業準備支援室使用者 谷水 佐久也 氏
- オ 受講者数 30 人
- カ 主催者 三重県経営者協会地域団塊世代雇用支援事業

### (2) 起業道場 (デザインセミナー) の協力

- ア 開催日 平成 21 年 10 月 2 日 (金)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 内容 チラシ・パンフレット等の作成に係るデザインの基礎知識について
- エ 講師 adoria company (アドリアカンパニー) 代表 岩田 浩司 氏
- オ 受講者数 5 人

### (3) 「リーディング産業展みえ 2009」への出展

- ア 開催日 平成 21 年 11 月 6 日 (金) 7 日 (土) 予定
- イ 開催場所 四日市ドーム
- ウ 内容 伊勢市産業支援センターの支援メニュー紹介、起業者の事業紹介など
- エ 主催者 リーディング産業展みえ 2009 実行委員会

### (4) 起業道場 (営業スキルアップ) の協力

- ア 開催日 平成 21 年 12 月 21 日 (月)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 内容 企業を相手に提案営業を行う場合のスキルやテクニックについて学ぶ
- エ 講師 メンターシステム(有) 代表 岩崎 功 氏
- オ 受講者数 9 人

### (5) 皇學館大学ビジネスプランコンテストへの協力

- ア 開催日 平成 22 年 1 月 23 日 (土)
- イ 開催場所 皇學館大学 伊勢学舎
- ウ 内容 大学生や高校生などを対象に、地域活性化に寄与する事業計画を競う  
公開プレゼンテーション大会
- エ 主催者 皇學館大学

(6) 伊勢工業高校インターンシップ報告会

ア 開催日 平成 22 年 2 月 3 日(水)

イ 開催場所 三重県立伊勢工業高等学校

ウ 内容 同校 2 年生の一部が伊勢市周辺の企業に就業体験を行い、それを 1 年生 2 年生  
約 400 人の生徒の前で発表を行った。この報告会はパネルディスカッション形式  
で行われ、そのコーディネータとして三田創業支援員が進行などを行った。

6 岐阜県多治見市起業支援センター視察

ア 訪問日 平成 22 年 2 月 10 日(水)

イ 内容 市直営かつ同規模の起業支援施設を視察し、また互いに情報交換を行った。

○ 太陽光発電設備設置事業

1 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町 地内	(注) 産業支援センター 太陽光発電システム 設置工事	太陽光パネル 30kW	円 23,100,000	21. 9. 4	21.12.11

(注) 建築住宅課施行

# 農 林 水 産 課

## ○ 農業振興関係

### 1 農家戸数

(単位：戸)

区 分	販売農家数			自給的 農家数	総農家数	土地持ち 非農家数
	専業	第一種 兼業	第二種 兼業			
伊勢市	211	155	1,170	631	2,167	930
二見町	14	3	79	185	281	76
小俣町	51	56	199	67	373	113
御菌村	37	19	145	77	278	75
計	313	233	1,593	960	3,099	1,194

(2005年農林業センサス)

### 2 経営耕地面積

(単位：ha)

区 分	経営耕地				
	販売農家			自給的農家	計
	田	畑	樹園地		
伊勢市	1,345	81	29	120	1,575
二見町	58	14	1	33	106
小俣町	331	36	5	13	385
御菌村	113	40	2	15	170
計	1,847	171	37	181	2,236

(2005年農林業センサス)

### 3 伊勢地域農業共済事務組合事業

農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。

伊勢市負担分 34,970,000円

構成7市町 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

### 4 農業経営基盤強化促進事業

#### (1) 経営改善支援事業

「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。

認定農業者件数 105件 (平成22年3月末現在)

21年度新規認定 1件

事業費 184,220円 (市単独事業)

(2) 農地流動化地域総合推進事業

効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等の育成すべき農業経営への農地の利用集積を進めた。

○農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積 (ha)		
	田	畑	計
利用権設定 (累積)	343.1	16.0	359.1
H21.4~H22.3 実績			
設 定	70.7	3.4	74.1
中途解約・期限切れ等	48.8	8.3	57.1
所有権移転	1.8	1.0	2.8

5 利子補給補助事業

効率的かつ安定的な農業経営を目指す認定農業者を支援するため、経営改善のための農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名		借入件数	借入残高	利子補給額	備考
農業近代化資金	上半期	64 件	158,345,000 円	356,547 円	市単独事業
	下半期	73	236,909,000	365,861	
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)		5	105,517,516	308,352	県 1/2

6 若い農業者育成確保推進事業

次代の担い手育成確保に資するため、小学生を対象とした稲刈り等を体験する農業体験学習会を農業者団体等に委託し実施した。

事業費 474,300 円 (市単独事業)

主な事業内容

対象小学校	体験内容	学年	参加人数
東大淀小学校	水稲 田植え、稲刈り	5 年生	24 人
豊浜西小学校	さつま芋 栽培	全校生	199 人
城田小学校	さつま芋、大豆ほか 栽培	2 年生	56 人
四郷小学校	水稲 田植え、稲刈り	5 年生	26 人
北浜小学校	水稲 田植え、稲刈り	5 年生	47 人
小俣小学校 明野小学校	いちご ポット栽培	1 年生	195 人
計	7 校	—	547 人



## 7 農業やってみませんか事業

農業の担い手不足が深刻になる中で、今後の農業振興・農村の活性化を図るため、定年退職者等で野菜作りに興味がある方に対し、セミナー及び実習を通して農業への理解を深めるための一助とした。

事業費 350,000 円（市単独事業）

主な事業内容

### (1) セミナー（講師 市内農業者）

開催日	内容	開催場所	受講者
21. 5. 9	野菜づくりについて （春夏野菜の育て方、土作り、水やり、害虫対策）	御菌総合支所 学習室	30 人

### (2) 野菜作り実習（講師 市内農業者）

	開催日	内容	開催場所	受講者
第 1 回	21. 4. 24	スイカ苗、トマト苗の定植	村松町地内 ほ場	21 人
第 2 回	21. 4. 29	施肥、ホルモン処理	〃	26 人
第 3 回	21. 5. 9	ナス苗定植	〃	27 人
第 4 回	21. 5. 16	芽かき、ホルモン処理、除草	〃	14 人
第 5 回	21. 5. 24	きゅうり苗、かぼちゃ苗の定植、除草、ホル モン処理、摘心	〃	26 人
第 6 回	21. 5. 30	ネット張り、除草、ホルモン処理、摘心	〃	27 人
第 7 回	21. 6. 13	トマト、ナス、きゅうりの収穫、ネット強化	〃	24 人
第 8 回	21. 7. 11	スイカの収穫	〃	28 人
第 9 回	21. 7. 20	スイカ、かぼちゃの収穫	〃	28 人
第 10 回	21. 8. 21	ほ場の片付け	〃	17 人
反省会	21. 9. 12	実習を振り返っての補足説明、質疑応答	御菌総合支所 学習室	20 人

## 8 遊休農地活用事業

遊休農地は近隣農地へ悪影響を与える、集団的土地利用を阻害するなどの農業経営上の問題ばかりでなく、農地の持つ多面的機能の喪失にもつながるため、遊休農地を解消し、活用することで、地域農業の振興や農村環境の保全を図った。

実施地区	事業内容	実施面積	事業費	備考
二見町西・ 松下地区	草刈・耕起業務、そば・ 菜種・蓮の植栽（委託）	m <sup>2</sup> 11,217	円 600,000	農山漁村活性化プロジェクト 支援交付金事業 （国 1/2、市 1/2）

9 生産調整推進対策事業

- (1) 米穀の需給と価格の安定を図るため、伊勢市水田農業推進協議会を主体とした地域農業者・農業団体が主体的に取り組む米の需給調整を推進・支援した。

生産調整推進対策の実績

	19年産	20年産	21年産
水稲作付面積目標	1,675 ha	1,600 ha	1,639 ha
作付段階における主食用作付面積	1,976	1,966	1,809

- (2) 小俣地区の集団小麦に対する市単独助成にかかる作付状況の確認及び支払い等の業務を伊勢市水田農業推進協議会へ委託し、転作作物の作付け拡大を図った。

委託金額 2,504,420円 (市単独事業)

10 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成21年度除外決定分(平成20年度申請)

利用計画変更分		件数	筆数	面積
農用地除外	一般管理	30件	33筆	18,255 m <sup>2</sup>
	特別管理	20	80	41,493
農用地編入(一般管理)		3	3	2,179
用途区分変更(一般管理)		2	2	1,025

事業費 199,600円 (市単独事業)

11 農業振興事業

(1) 農業振興事業補助金

農村の活力が低下している中、農村の振興、農業の持続的発展のため、農協各営農部会が行う事業を支援し、地域農業の活性化、農業経営の安定を図った。

事業主体 伊勢農業協同組合

事業内容 農協各営農部会の営農全般に係る諸指導、農産物のブランド化事業及び地産地消、減農薬栽培への取組み及び指導等

事業費 11,111,113円

補助額 2,000,000円

(2) 蓮台寺柿保存育成事業補助金

350年の歴史をもち、市の天然記念物である蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけ、地域の特産物として保存育成するため、苗木育成、共同防除その他の事業を支援することで、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

事業主体 蓮台寺柿保存育成研究会  
 事業費 459,000 円  
 補助額 45,000 円

(3) 受託者部会等機械購入事業補助金

効率的な農業経営への転換を促進するため、機械作業を受託する農協の受託者部会の資本整備にかかる経費を補助し、農作業の効率化、農業経営の安定化を推進した。

事業費	補助額	事業主体
6,573,900 円	1,000,000 円	伊勢農業協同組合（御菌受託者部会）
5,456,000 円	1,000,000 円	伊勢農業協同組合（二見受託者部会）

12 地産地消推進事業

(1) 伊勢市地産地消の店認定制度

平成 19 年 12 月に創設した「伊勢市地産地消の店認定制度」に基づき、伊勢市地産地消の店として認定した店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。

平成 21 年 6 月 19 日認定店 7 店舗（内訳：飲食店 3、小売店 2、量販店 2）

※累積：23 店舗（内訳：飲食店 9、宿泊施設 2、小売店 4、直売所 4、量販店 4）

事業費 130,093 円（市単独事業）

(2) 学校給食への地元農産物の供給

学校給食用米について、農協及び生産者の協力を得て市内での栽培拡大を進め、必要数量の確保を行い、100%市内産米による米飯給食の実現を目指し地産地消の推進を図った。

委託先 伊勢農業協同組合

委託期間 平成 21 年 4 月 6 日～平成 22 年 3 月 31 日

委託内容 学校給食用米（みえのえみ）の必要数量確保に係る生産者のとりまとめ、栽培指導、生産者への補填金支出等

確保数量 3,247 袋（97.41 t : 30kg/袋）

委託料 896,750 円（市単独事業）

(3) 学校給食への地元農産物の提供

学校給食週間による給食記念日献立実施日に、市内の小中学校の給食へ地元農産物を提供し、地産地消の啓発を図った。

提供先 市内小中学校 36 校

提供品目 いちご

事業費 386,374 円（市単独事業）

13 特色ある農産物づくり支援事業

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。

事業主体 有限会社 お伊勢さん

事業内容 市の天然記念物でもある蓮台寺柿の生産量の減少に歯止めをかけるため、蓮台寺柿を加工した「干し柿」の生産技術の継承等に必要な施設を整備し、生産増大を図った。

事業費 585,000 円

補助額 250,000 円（市単独事業）

#### 14 産直市支援事業

新鮮で安全な農作物を消費者に提供し、地産地消の推進を図り、さらに消費者との交流による中心市街地の活性化と地域農業の振興へ繋げるため、中心市街地での産直市施設の運営を支援した。

施設名 いせ産直市場（しんみち商店街内）

運営主体 伊勢市産直部会（事務局：伊勢農業協同組合）

事業費 1,197,000 円（市単独事業）

事業内容 店舗賃貸料負担（月額賃料：99,750 円）

#### 15 横輪地区活性化事業

（財）地域社会振興事業団の長寿社会づくり事業費交付金を活用して、高齢者の生きがいつくりや地域に在住する若者のコミュニティ運営への参画を促す活動に対して支援を行い、農山村地域の活性化を図った。

事業主体 横輪町活性化委員会

事業内容 新たなイベント創出、観光型マップ作成、PR用DVD作成等

補助額 2,000,000 円（（財）地域社会振興事業団による全額補助）

### ○ 施設管理関係

#### 1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕・浚渫工事や草刈等の業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

##### （1）修繕・浚渫工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町内 地	農道舗装修繕工事	L=22.0m	210,000 <sup>円</sup>	21. 5. 11	21. 6. 9
鹿海町内 地	鹿海排水機場ネットフェンス改修工事	L=10.2m	99,120	21. 6. 4	21. 6. 8
〃	中渠排水汐止堰施設修繕工事	一式	75,600	21. 6. 18	21. 6. 25
二見町三津 地	農業用ポンプ施設修繕工事	一式	69,300	21. 7. 31	21. 8. 5

二見町三津地	農業用ゲート修繕工事	一式	84,000 <sup>円</sup>	21. 8. 20	21. 8. 25
村松町地	農道法面修繕工事	L = 12. 0m	199, 500	21. 9. 4	21. 10. 23
東豊浜町地	東豊浜排水機場遊水池浚渫工事	L = 125. 0m	2, 287, 950	21. 10. 30	22. 1. 29
中須町地	農業用排水路浚渫(その1)工事	L = 540. 0m	690, 900	21. 11. 13	21. 12. 28
小俣町新村地	農業用排水路法面修繕工事	一式	99, 750	21. 12. 18	21. 12. 21
〃	農業用排水路修繕(その2)工事	一式	99, 750	21. 12. 25	21. 12. 28
一之木4丁目地	ホトス池法面修繕工事	一式	99, 750	22. 1. 6	22. 1. 15
津村町地	農業用排水路修繕工事	L = 3. 0m	152, 250	22. 1. 13	22. 1. 22
二見町山田原地	農業用排水路浚渫(その2)工事	一式	89, 250	22. 3. 15	22. 3. 19
計	13 件	—	4, 257, 120	—	—

(2)業務委託

施行場所	業務名	委託概要	金額	着手	完了
神社港内 神地	(注) 馬瀬ポンプ場堆積物回収運搬業務委託	巡視 104 回 堆積物回収 30 回	938, 700 <sup>円</sup>	21. 4. 1	22. 3. 31
栗野町内 栗地	菱川除草業務委託	草刈り 一式	37, 000	21. 6. 12	21. 7. 6
朝熊町内 朝地	橘樋門通路除草業務委託	草刈り 一式	35, 670	21. 12. 1	21. 12. 14
計	3 件	—	1, 011, 370	—	—

(注) 維持課へ執行委任

(3)重機借上・原材料支給

	施行場所	金額
重機借上	朝熊町地内 ほか 17 件	3, 123, 750 <sup>円</sup>
原材料支給	鹿海町地内 ほか 7 件	234, 381
計	—	3, 358, 131

## 2 農地・水・環境保全向上対策事業

農業の持続的発展、農地・農業用水路等の農業用資源の持つ多面的機能の適正な発揮のため、市内 21 の農家・非農家で構成された組織で、これらの資源を地域ぐるみの共同活動で保全向上させる取り組みが行われ、それに対する支援、推進を行った。

実施地区 21 組織(一色、西豊浜森、有滝、村松、東大淀、柏、上地、粟野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町三津)

実施面積 1,435 ha

支援金総額 61,308,920 円 (伊勢市負担分 15,327,230 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

## 3 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

### (1) 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・指定管理委託期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 2,080,000 円
- ・施設利用状況等

期間	開館日数	来客人数
21. 4. 1～21. 4. 30	24 日	4,632 人
21. 5. 1～21. 5. 31	23	1,144
21. 6. 1～21. 6. 30	21	1,817
21. 7. 1～21. 7. 31	23	1,014
21. 8. 1～21. 8. 31	23	1,322
21. 9. 1～21. 9. 30	21	1,016
21.10. 1～21.10. 31	23	1,067
21.11. 1～21.11. 30	22	1,542
21.12. 1～21.12. 31	23	1,355
22. 1. 1～22. 1. 31	21	1,153
22. 2. 1～22. 2. 28	21	951
22. 3. 1～22. 3. 31	24	1,728
計	269	18,741

#### 4 二見しょうぶロマンの森維持管理

##### (1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設（「民話の駅蘇民」「しょうぶ園」）について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し、地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
- ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合
- ・指定管理委託期間 平成 18 年 9 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 47,156,000 円
- ・二見しょうぶロマンの森維持管理運営委託に伴う「民話の駅蘇民」販売収入等 45,971,073 円
- ・施設利用状況等

期間	開館日数	来客人数
21. 4. 1～21. 4. 30	25 日	9,584 人
21. 5. 1～21. 5. 31	27	12,081
21. 6. 1～21. 6. 30	28	14,464
21. 7. 1～21. 7. 31	26	9,848
21. 8. 1～21. 8. 31	25	9,391
21. 9. 1～21. 9. 30	26	9,414
21. 10. 1～21. 10. 31	26	8,537
21. 11. 1～21. 11. 30	26	9,122
21. 12. 1～21. 12. 31	27	10,205
22. 1. 1～22. 1. 31	24	7,996
22. 2. 1～22. 2. 28	24	8,736
22. 3. 1～22. 3. 31	26	9,817
計	310	119,195

##### (2) 小修繕

「しょうぶ園」の施設維持のため修繕を行った。

##### ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町松下地内	しょうぶ園水路修繕工事	L = 165m	円 1,795,500	22. 1. 29	22. 3. 15

#### 5 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

(1)市有建物の貸付

所在地	構造	建物面積	貸付先	貸付料 (年額)	用途	期間
小俣町湯田 55番地	鉄骨造折板葺 平屋建	m <sup>2</sup> 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 612,000	農産物販売 (産直市)	自 21. 4. 1 至 22. 3. 31

6 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

(1)施設管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区 区長
- ・指定管理委託期間 平成 18 年 9 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 407,000 円
- ・施設利用状況等 年間利用回数 142 回  
年間利用人数 1,620 人 (延べ人数)

(2)小修繕

二見健康管理増進センターの維持のため修繕を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町松下 地内	(注) 二見健康管理増進セ ンター外壁補修工事	外壁補修 一面	円 1,186,500	21.11. 6	22. 1. 8

(注) 建築住宅課施行

7 樋門の維持管理

流域への湛水、洪水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託し、樋門の機能保持及び安全管理を図った。

(1)三重県県土整備部所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有滝町	有滝町会長	円 20,600
江川	〃	〃	24,700
社護神	〃	〃	16,500
土路西条 4号	西豊浜町	上区自治会区長	16,500



土路西条 5号	磯町	磯町自治会区長	円 16,500
矢田川	楠部町	楠部町自治会長	20,600
津村	津村町	津村町区長	16,500
宮沼	〃	〃	20,600
計	8樋門	—	152,500

(2)市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
満城	磯町	磯町自治会区長	円 20,600
磯	〃	〃	16,500
堀の内	西豊浜町	森区自治会区長	16,500
中島	〃	小川区自治会区長	16,500
郷垣外	〃	〃	14,450
中坪井	東豊浜町	〃	16,500
下坪井	〃	東豊浜町西条自治会長	16,500
浜	〃	〃	16,500
西浦	〃	〃	16,500
西条第一	〃	〃	16,500
浦ノ山	〃	土路区町会長	16,500
墓ノ浦	〃	〃	20,600
里浦	〃	〃	16,500
一本松	檜原町	檜原町会自治会長	16,500
枯木州	〃	〃	16,500
地藏池	村松町	有滝町会長	14,450
南挟間	〃	〃	14,450
西の小端 第一	〃	〃	14,450

イナ川	有滝町	有滝町会長	円 16,500
西曾	〃	豊浜土地改良区理事長	17,600
亀池	村松町	村松町会長	24,700
旧汐田	東大淀町	東大淀町会長	17,600
明野	〃	〃	15,000
東勘坊	柏町	柏町会長	17,600
大切戸	一色町	一色町自治会区長	16,500
戸部神	〃	〃	16,500
中渠	楠部町	楠部町自治会長	17,600
小畑	中村町	中村土地改良区理事長	15,000
八郎兵衛	鹿海町	鹿海町自治会長	20,600
西新田	〃	〃	16,500
西沖	朝熊町	朝熊町自治会長	16,500
保田	〃	〃	16,500
立岩	〃	〃	14,600
貝楠部	〃	〃	16,500
亀ヶ森	〃	〃	14,600
橋第二	〃	〃	14,600
橋	〃	〃	16,500
浜田	〃	〃	16,500
子良江古	〃	〃	16,500
雨渕川	上野町	上野町区長	16,500
西	西区	二見町西区長	14,450
名古新田	三津区	二見町三津区長	20,600
大谷	〃	〃	16,500
計	43 樋門	—	719,550

(3)樋門小修繕

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
一 色 町 地 内 ほ か	戸部神樋門ほか修繕 工事	樋門修繕 一式	円 74,550	21. 5.25	21. 5.29
朝 熊 町 地 内	浜田樋門フラップゲ ート修繕工事	ゲート修繕 2 門	1,260,000	21.10.23	21.12.15
一 色 町 地 内	戸部神樋門水密ゴム 修繕工事	水密ゴム修繕 一式	378,000	22. 2.12	22. 3.12
計	3 件	—	1,712,550	—	—

8 陸こう門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に設置した陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

(1)市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所 在 地	委 託 先	委 託 料
東大淀第 1・2 陸こう門	東 大 淀 町	東 大 淀 町 会 長	円 11,000
村松第 1～8 陸こう門	村 松 町	村 松 町 会 長	44,000
有滝第 1～6 陸こう門	有 滝 町	有 滝 町 会 長	33,000
土路第 1～5 陸こう門	東 豊 浜 町 西 条	土 路 区 町 会 長	27,500
西条第 1～6 陸こう門	東 豊 浜 町 土 路	東豊浜町西条自治会長	33,000
計	5 件	—	148,500

9 排水機場維持管理

農業用としてだけでなく、集落地域の雨水排水にも稼動している公共性の高い排水機場について維持管理または電気代等の維持管理費を補助することにより、土地改良区等の負担軽減を図り、農業基盤の保全と農村地域の環境整備を図った。

(1)市所管排水機場操作業務委託

排水機場名	所 在 地	委 託 先	委 託 料
野 口 排 水 機 場	東 大 淀 町	東大淀土地改良区	円 50,000

(2)補助金

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 928,104
野口排水機場ほか	東大淀土地改良区	137,988
有滝第2排水機場	伊勢北部土地改良区	618,896
社護神排水機場	有滝土地改良区	322,985
豊浜第2排水機場	豊浜土地改良区	22,157
計	5件	2,030,130

○ 畜産関係

1 畜産飼養頭羽数

種 類	肉 用 牛			乳 牛			肉 豚			採 卵 鶏		
	19	20	21	19	20	21	19	20	21	19	20	21
頭羽数 (頭羽)	521	550	520	16	15	10	600	600	600	27,500	26,230	26,700
戸 数 (戸)	8	8	8	1	1	1	1	1	1	6	5	5

2 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。

事業主体 株式会社 三重県松阪食肉公社

補助金 3,383,000 円

○ 農業基盤整備関係

1 市単土地改良事業

(1)農道舗装事業

道路幅員等において、国・県の補助事業として採択基準に合致しない農道整備について、舗装工事等を施行し、農道の機能を保持するとともに、交通の安全と円滑な通行の確保に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
上野町内 地	農道舗装(その1)工事	m L = 206.0	円 1,627,500	22. 1. 29	22. 3. 15

(2) 農業用排水路整備事業

国・県の補助事業として採択基準に合致しない、老朽化による水路の損傷及び生活排水の流入により排水能力が低くなった排水路の整備を行うことにより、排水機能回復と環境整備を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
津 村 町 地 内	農業用排水路（その1）工事	L=47.0m	円 1,659,000	21.10.9	21.10.19
二見町江 地 内	農業用排水路（その2）工事	L=110.0m	3,911,250	22.1.29	22.3.31
計	2件	—	5,570,250	—	—

(3) 給水栓整備事業

当該地区の農業用用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
西 豊 浜 町 地 内	給水栓設置工事	給水栓設置 54箇所	円 3,486,000	22.1.29	22.3.17

2 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を図った。

(1) 県営事業負担金

事 業 名	工事概要	事 業 費	市 負 担
県営ため池等整備事業 戸部神地区	詳細設計 一式	円 18,900,000	円 3,825,000
県営ため池等整備事業 大切戸地区	上屋工 一式	4,304,000	358,000
県営かんがい排水事業 宮川2工区	幹線用水路 L=400m	73,500,000	(注) 1,289,925
県営かんがい排水事業 宮川4工区	幹線用水路 L=700m 支線用水路 一式	262,500,000	(注) 34,095,000
県営かんがい排水事業 宮川4工区その2	幹線用水路 L=2,600m	561,750,000	(注) 84,210,000
経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水路 L=847m 支線用水路 L=10,280m	554,400,000	(注) 4,475,113
経営体育成基盤整備事業 小俣地区	測量設計 一式 支線用水路 L=3,500m	132,300,000	(注) 5,386,500

県営ふるさと農道整備事業 松下地区	橋脚工 1基	円 174,730,000	(注) 円 61,415,000
計	8件	1,782,384,000	(注) 195,054,538

(注) 平成22年度へ一部繰越

(2) 補助金

(市補助額欄の(注)印は、償還金に対する補助金額)

補助金支出先	施行年度	事業名	事業概要	市補助額
宮川用水 土地改良区	昭和 62～ 平成3	県営施設整備事業市町 村負担金	用水路工事	円 (注) 3,223,000
〃	21	土地改良施設維持管理 適正化事業 (31・32期生)	用水路補修工事	2,400,000
〃	21	農地有効利用支援整備 事業補助金	揚水機修繕工事	364,970
〃	21	災害復旧事業揚水機場 引込電柱他復旧工事	電柱復旧工事他	49,000
伊勢北部 土地改良区	6～ 15	県営ほ場整備事業 (伊勢北部地区)	区画整理工事	(注) 12,820,782
〃	5	〃	〃	(注) 685,141
豊浜 土地改良区	5～ 11	団体営土地改良総合 整備事業(豊浜・森・ 小川地区)	用水施設整備他	(注) 24,637,159
〃	10～ 11	県単土地基盤整備事業 (磯地区)	排水路工事	(注) 465,128
〃	13～ 15	基盤整備促進事業(大 方後地区)	用水路工事他	(注) 886,730
朝熊 土地改良区	4	団体営土地改良総合 整備事業(小規模排水) 名古屋砂地区	用排水施設整備 他	(注) 2,828,970
〃	21	土地改良施設維持管理 適正化事業	揚水機修繕工事	432,000

五十鈴川用水 土地改良区	21	木出頭首工維持管理事業	電気料金他	円 344,222
〃	21	木出頭首工発電機修繕事業	ラジエーター交換	17,577
宮川左岸第二 土地改良区	21	農地有効利用支援整備事業補助金	揚水機修繕工事	120,000
〃	21	土地改良施設維持管理適正化事業	用水管修繕工事	80,000
〃	21	農業用井戸浚渫事業	農業用井戸浚渫工事	83,000
村松 土地改良区	21	県単土地基盤整備事業 (小規模土地改良事業)	排水路工事	526,000
〃	21	災害復旧事業揚水機場引込電柱他復旧工事	電柱復旧工事他	13,000
佐八町	21	農業用用水路修繕事業	用水路修繕工事	378,000
小俣町 土地改良区	21	農業用揚水施設整備工事	用水路修繕工事	1,228,500
宮川右岸御薊 土地改良区	21	県営かんがい排水事業に伴う給水栓設置工事	給水栓設置工事	833,000
計	21件	—	—	52,416,179

### 3 国営造成施設管理体制整備強化支援事業

国営で造成した土地改良施設（頭首工、揚水機、用水路等）に対する国の助成制度で、施設の持つ多面的機能の発揮及び環境や安全に配慮した管理体制の高度化を図った。

管理体制整備強化支援事業 1,398,000円（国50% 県25% 市25%）

### 4 農村振興整備事業

近年の農業のおかれている状況は、農家数及び農地の減少、農産物の輸入自由化による価格の低迷と生産意欲の減退、労働力の高齢化と後継者の不在等と大変厳しいものである。こうした状況に応じて、農業生産基盤整備、農村環境基盤整備を進めることで、優良農地の適正な管理、営農環境の保全及び生活環境の改善に努め、地域の活性化を図った。

#### (1) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業

農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、基盤整備を実施することで離農者及び離農村者を抑制し、地域住民の定住化を図った。

##### ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
前山町内	農排3-4号工事	L=82.3m	円 1,648,500	21.10.23	22.1.8

黒地	瀬町内	農排 3-2 号工事	L = 105.3m	円 6,502,650	22. 2. 5	22. 3. 23
有地	滝町内	農排 3-16 号工事	L = 122.8m	5,593,350	22. 2. 5	22. 3. 29
上地	地町内	防災 3-2 号工事	耐震性貯水槽一式	6,105,750	22. 2. 5	22. 3. 15
植地	山町内	防災 3-1 号工事	耐震性貯水槽一式	5,660,550	22. 2. 19	22. 3. 23
計		5 件	—	25,510,800	—	—

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
西豊浜町地	集道 3-1 号工事に伴う地質調査業務委託	CBR 試験一式	円 783,300	21. 9. 29	21. 12. 15
〃	集道 3-2 号工事に伴う地質調査業務委託	CBR 試験一式	558,600	21. 9. 30	21. 12. 15
〃	集道 3-1 号工事に伴う測量業務委託	測量業務一式	2,026,500	21. 10. 2	22. 1. 29
〃	集道 3-1 号工事に伴う設計業務委託	設計業務一式	1,108,800	21. 10. 2	22. 2. 26
〃	集道 3-2 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	2,436,000	21. 10. 2	22. 1. 15
檜原町地	集道 3-3 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	1,984,500	21. 11. 6	22. 3. 15
植山町地	集道 3-6 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式	2,375,100	21. 11. 6	22. 3. 15
黒瀬町地	農排 3-2 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	1,606,500	21. 11. 6	21. 12. 15
御菌町上條地	農排 3-7 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	2,321,550	21. 11. 6	22. 1. 14
中須町地	農排 3-8 号工事に伴う測量業務委託	測量業務一式	2,261,700	21. 11. 6	22. 2. 15
西豊浜町地	農排 3-13 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	2,101,050	21. 11. 6	22. 3. 10
東豊浜町地	農排 3-15 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	1,995,000	21. 11. 6	22. 3. 1
有滝町地	農排 3-16 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	1,717,800	21. 11. 6	21. 12. 25



植地	山町内	集道 3-6 号工事に伴う地質調査業務委託	CBR 試験一式	円 675,150	21.11.9	22.1.29
一地	色町内	集道 3-5 号工事に伴う測量業務委託	測量業務一式	12,448,800	21.11.20	22.3.18
	〃	集道 3-5 号工事に伴う設計業務委託	設計業務一式	1,203,300	21.11.20	22.3.29
磯地	町内	農排 3-14 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	3,195,150	21.11.20	22.3.29
一地	色町内	集道 3-5 号工事に伴う地質調査業務委託	CBR 試験一式	1,087,800	21.11.26	22.2.15
通地	町内	集道 3-4 号工事に伴う地質調査業務委託	CBR 試験一式	929,250	21.12.3	22.2.8
中地	須町内	農排 3-8 号工事に伴う設計業務委託	設計業務一式	840,000	21.12.3	22.2.10
通地	町内	集道 3-4 号工事に伴う測量業務委託	測量業務一式	4,419,450	21.12.4	22.3.15
	〃	集道 3-4 号工事に伴う設計業務委託	設計業務一式	1,108,800	21.12.4	22.3.15
御菌町新開地	町内	農排 3-3 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	1,785,000	21.12.25	22.3.15
二見町松下地	町内	農排 3-9 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	1,830,150	21.12.25	22.3.15
御菌町王中島地	町内	農排 3-12 号工事に伴う測量設計業務委託	測量業務一式 設計業務一式	1,984,500	21.12.25	22.3.15
計		25 件	—	54,783,750	—	—

## (2) 農地有効利用支援整備事業

部分的な農地の排水条件の改良や農道の適正管理に必要な舗装又は施設管理の省力化等の簡易な基盤整備等に対応し、食料供給力の強化を図った。

### ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町今一色地	農業用排水路 1-3 号工事	L = 50.0 m	円 1,134,000	22.1.18	22.3.15
鹿海町地内ほか	農道舗装 1-1 号工事	L = 425.5	4,332,300	22.1.29	22.3.15
神菌町地内ほか	農道舗装 1-2 号工事	L = 301.0	2,499,000	22.1.29	22.3.15

西豊浜町 地内ほか	農道舗装 1-3 号工事	L = 599.0 m	円 4,837,350	22. 1. 29	22. 3. 15
小俣町新村 地内ほか	農道舗装 1-4 号工事	L = 195.0	1,613,850	22. 1. 29	22. 3. 4
東豊浜町 地内	農道整備 1-1 号工事	L = 79.0	2,444,400	22. 1. 29	22. 3. 25
柏町 地内	農業用排水路 1-2 号工事	L = 100.8	1,696,800	22. 1. 29	22. 3. 15
通町 地内	農業用排水路 1-1 号工事	L = 69.0	1,734,600	22. 2. 5	22. 3. 25
上地町 地内ほか	農業用排水路 1-4 号工事	L = 184.6	5,055,750	22. 2. 5	22. 3. 29
御菌町新開 地内	農業用排水路 1-6 号工事	L = 83.0	2,169,300	22. 2. 5	22. 3. 29
村松町 地内	農業用排水路 1-5 号工事	L = 265.0	1,442,700	22. 2. 19	22. 3. 12
御菌町小林 地内	農道舗装 1-5 号工事	L = 265.0	1,967,700	22. 2. 26	22. 3. 26
計	12 件	—	30,927,750	—	—

## 5 技術援助事業

土地改良区が実施する修繕工事等について、設計・監督等の技術援助を行い、土地改良区の負担軽減を図った。

事業主体	工事内容
小俣町土地改良区	農業用用水施設整備工事
村松土地改良区	農業用排水路整備工事
計	2 件

## 6 土地改良施設整備事業

大堀川改修に伴い、東大淀排水機場の排水機能の低下が生じることから、湛水時間の増大による農地の浸水被害が発生する恐れがある。このことから、農地への被害防止を図るため、流域の調査・排水検討等、整備に必要な基本計画検討を行った。

### ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東大淀町 地内	東大淀地区排水検討業務委託	排水検討業務 一式	円 2,589,300	21. 9. 4	21.12. 2

## ○ 林業関係

### 1 林道修繕事業

台風等の影響により法面が崩落した林道において、通行の支障となっていた土砂を撤去し、補修を行い、機能の維持・向上を図った。

#### ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
矢持町 地内	堂の奥林道崩落法面復旧工事	V=10m <sup>3</sup>	円 99,750	21. 7. 7	21. 7. 21
朝熊町 地内	朝熊林道舗装工事	L=50.0m	441,000	22. 2. 24	22. 3. 19
計	2件	—	540,750	—	—

### 2 高齢林整備間伐促進事業

森林の適正な整備、保全を進めることにより、将来にわたる森林の有する多面的機能の持続的な発揮を目指し、8齢級（36～40年生）以上のスギやヒノキなどの人工林の間伐に対する支援を行った。

事業主体 いせしま森林組合

補助額 3,213,000円（国50%、県35%）

### 3 環境保全林管理事業

市民の憩いの場である三郷山、音無山生活環境保全林及び横輪環境保全林において、清掃、草刈り等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

#### ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町 茶屋地内	音無山排水路整備工事	L=5.0m	円 291,900	21. 6. 15	21. 7. 24
横輪町 地内	宮山施設整備工事	施設整備 一式	472,500	22. 3. 3	22. 3. 19
浦口町 地内ほか	三郷山遊歩道ほか修繕工事	遊歩道修繕 L=57.0m 堰土砂撤去 一式	498,750	22. 3. 4	22. 3. 19
朝熊町 地内	絆の森簡易トイレ設置工事	簡易トイレ1基	745,500	22. 3. 9	22. 3. 25
計	4件	—	2,008,650	—	—

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
浦口町内 地	三郷山清掃業務委託	清掃 年16回	円 300,000	21. 4. 1	22. 3. 31
二見町茶屋 地内ほか	音無山管理業務委託	管理業務 一式	530,528	21. 4. 1	22. 3. 31
横輪町内 地	宮山管理業務委託	管理業務 一式	300,000	21. 5. 22	22. 3. 31
浦口町内 地	三郷山草刈等(その1)業務委託	下草刈りほか 24,700 m <sup>2</sup>	780,000	21. 5. 29	21. 7. 17
〃	三郷山給水施設衛生管理業務委託	給水施設 清掃・点検一式	29,872	21. 8. 3	21. 9. 30
〃	三郷山草刈等(その2)業務委託	下草刈り 24,700 m <sup>2</sup>	518,000	21. 9. 9	21. 12. 1
横輪町内 地	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務 17,660 m <sup>2</sup>	1,118,000	21. 11. 18	22. 3. 19
計	7件	—	3,576,400	—	—

4 環境保全林整備事業

市民の憩いの場である三郷山生活環境保全林において、適正な間伐を行う事により、保全林のもつ機能の向上を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
浦口町内 地	三郷山間伐業務委託	間伐 A=1.9ha	円 870,450	22. 1. 27	22. 3. 19

5 森林環境創造事業

音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は4.59ha実施した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町江 地内ほか	音無山施設管理業務委託	下刈り 2.41ha 歩道草刈り 1.83ha 受光伐 0.35ha	円 893,550	21. 9. 28	21. 12. 15

## 6 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

### ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町西地内	松くい虫防除（伐倒破砕その1）業務委託	枯松伐倒破砕 56.2m <sup>3</sup>	円 1,113,000	21. 4. 17	21. 7. 1
二見町西地内ほか	松くい虫防除（地上散布）業務委託	薬剤散布 A=19.3ha	1,548,750	21. 5. 27	21. 7. 31
〃	二見保安林下刈業務委託	下刈り A=3.07ha	1,185,450	21. 8. 26	21.10.15
村松町地内ほか	村松松林ほか下刈業務委託	下刈り A=10,000 m <sup>2</sup>	160,000	21. 9. 10	21.11.10
二見町西地内ほか	松くい虫防除（伐倒破砕その2）業務委託	枯松伐倒破砕 35.5m <sup>3</sup>	915,600	21.12.24	22. 3. 19
二見町茶屋地内ほか	松くい虫防除（樹幹注入）業務委託	樹幹注入 266本	2,698,500	22. 2. 3	22. 3. 19
計	6件	—	7,621,300	—	—

## 7 地域環境保全林整備特別対策事業

### (1)海辺の公有林化支援事業

二見町今一色地区から荘地区までの海岸線の保安林が機能を果たせなくなってきたため、公有林化を図り整備し、本来の機能を維持、向上させるため、個人名義の保安林を買収した。

### ア 用地買収関係

場所	地権者数	筆数	面積	金額
二見町西地内	人 1	筆 1	m <sup>2</sup> 585.0	円 1,945,000
二見町今一色地内	1	2	280.0	1,400,000
計	2	3	865.0	3,345,000

## 8 獣害防止事業

### (1)有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行い、被害の減少に努めた。

件数	延べ人員	捕獲数
48件	355人	イノシシ 188 頭(羽)
		シカ 104
		サル 17
		ハシブトガラス 5
		ハシボソガラス 16
		ゴイサギ 6
		ドバト 34

(2) 獣害防止事業委託

伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林産物及び人的被害軽減に努めた。

内容 有害獣の捕獲に対し予算の範囲内で助成。

(猪・鹿：3,000円/1頭 猿：10,000円/1頭)

平成21年度捕獲実績(頭)	
イノシシ	35
シカ	47
サル	3

事業費 276,000円 (市 276,000円)

(3) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、平成20年11月に設立された伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。

事業内容	金額(円)	備考
電気柵整備	621,300	佐八町、上野町(45%地元負担)
捕獲檻導入	374,010	猪用：5台
有害鳥獣駆除委託	500,000	委託先：伊勢地区猟友会
サルの生息状況調査委託	500,000	委託先：NPO法人 サルどこネット
生息状況調査のための発信機等導入	231,835	受信機、発信機各2台
サル位置情報システム利用料	13,230	
獣害対策講演会の開催(三重県と共催)	127,893	開催：2月24日ハートプラザみその参加者：93名
狩猟免許取得推進	114,000	初心者講習受講手数料
研修会費用	34,410	啓発用DVD等
追払い用威嚇機材購入	97,440	パチンコ、ロケット花火等
その他協議会運営費	7,182	会議開催経費等
計	2,621,300	

事業費 2,621,300円 (国 2,341,000円 地元負担 280,300円)

9 鳥獣保護等事業

(1) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロ等の飼養許可事務を実施した。

交付件数 7件 (メジロ：更新 6件 カラス：救護 1件)

手数料収入 20,400円 (手数料 1件 3,400円、救護については手数料免除)

(2) 傷病野生鳥獣保護

三重県傷病野生鳥獣救護実施要領の規定に基づき、市民から通報のあった傷病野生鳥獣を保護し、獣医及び救護ボランティアに搬送、適正な治療により野生鳥獣の保護に努めた。

件数 1件 (獣類)

## ○ 水産振興関係

### 1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、アサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業を主とし、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数は次のとおりで、生産状況は、貝類（アサリ等）が231t、魚類等が270t、くろのりは3,349万枚となっている。

#### (1) 組合員数

(単位：人)

区分	漁協名		平成21年度			平成20年度			
			正組合員	準組合員	計	正組合員	準組合員	計	
海面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内)	旧伊勢市管内	東大淀	38	118	156	45	143	188
			村松	45	98	143	61	95	156
			有滝	45	102	147	52	100	152
			東豊浜	33	242	275	39	242	281
			大湊	11	21	32	19	25	44
			一色	8	48	56	13	43	56
			神社	4	12	16	4	15	19
	小計	184	641	825	233	663	896		
	旧二見町管内	今一色	69	16	85	73	14	87	
		江	22	36	58	24	36	60	
		松下	18	48	66	21	45	66	
小計		109	100	209	118	95	213		
合計			293	741	1,034	351	758	1,109	
内水面	宮川漁協		1,089	1,278	2,367	1,185	1,289	2,474	
	内伊勢市管内		315	226	541	336	224	560	

(注) 宮川漁協は各年度12月31日現在

(各年度4月1日現在)

#### (2) 漁業生産状況

(単位：kg(くろのりは千枚))

種類	平成21年度	平成20年度
魚類	166,961	218,071
水産動物類	102,682	92,484
アサリ	144,179	291,267
その他の貝類	86,421	192,621
くろのり	33,493	42,393
あおのり	1,651	1,806

## (3) 漁船数

(単位: 隻)

地区名	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	合計
東大淀	68	8	1	0	77
村松	46	7	13	0	66
有滝	80	3	17	0	100
東豊浜	88	7	9	0	104
大湊	24	0	0	0	24
一色	16	0	0	0	16
神社	1	0	0	0	1
今一色	193	6	0	1	200
江	38	0	0	0	38
松下	31	0	0	0	31
合計	585	31	40	1	657

(平成 21 年 12 月 31 日現在登録分)

## (4) 漁業就業者の年齢構成

(単位: 人)

区分	男	女	計
20 歳未満	0	0	0
20～30 未満	2	0	2
30～40 未満	11	0	11
40～50 未満	20	17	37
50～60 未満	43	38	81
60～70 未満	80	94	174
70 歳以上	148	67	215
計	304	216	520
平均年齢 (歳)	65.7	64.5	65.2

(平成 21 年 3 月末現在)

## 2 水産振興事業

## (1) 水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立東大淀小学校 5、6 年生 (40 名) に対して漁業に関する講習を行い、施設見学、体験実習をしてもらうことで、漁村・漁業への興味の高揚を図った。



実施場所	内 容	事業費	開催日
鳥羽市浦村町地内	○講習： 「伊勢市の漁業の概要」 ○施設見学： 海の博物館 ○体験実習： 貝殻等を用いたマグネット作り体験	円 34,950	21.11.19

#### (2) 魚礁効果調査事業

昭和54年から平成10年までの間に伊勢市地先に設置した魚礁について、設置状況と魚類等の集状況を調査し、適切な施設の維持管理及び設置効果を検証し、操業の効率性・安全性の向上を図った。

実施場所	内 容	事業費	調査回数	実施期間
有滝町村松町地先	魚礁の設置状況(位置・水深・現況など)、魚礁への魚類・水産動物類等の集状況、魚礁表面への海藻類等の付着状況 など	円 624,250	回 5	21.7~22.3

#### (3) 干潟保全活動支援事業

水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養のほか、水質浄化などの役割をもつ干潟は、近年、海洋環境の悪化などにより機能が低下しているため、地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。

実施主体	実施場所	内 容	負担金	実施期間
今一色干潟保全会	二見町今一色地先干潟	計画づくり、モニタリング、保全活動(耕うん、保護区域の設定、稚貝等の沈着促進、浮遊・堆積物の除去など)	円 575,000	21.6~22.3

#### (4) 各種補助金事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
アサリ養殖振興事業	伊勢湾漁業協同組合	東大淀・村松・有滝・東豊浜、二見町各地先にアサリ種苗を放流 放流量 51 t	円 11,225,499	円 2,686,000	アサリ資源の増大と漁家経営の安定、アサリの浄化作用による環境保全を図った。

種苗（クルマエビ等）育成事業	伊勢湾漁業協同組合	クルマエビ 100万尾 ヨシエビ 50万尾 クロダイ 6千尾 ヒラメ 13千尾 各種苗を松阪市松名瀬海岸～二見町地先に放流	円 2,500,000	円 144,000	クルマエビ・ヨシエビ（中間育成後）、クロダイ、ヒラメの種苗を放流し、資源の増大と漁家経営の安定を図った。
稚鮎等放流事業	宮川漁業協同組合	アユ 3,960kg ウナギ 70kg アマゴ 100kg 各種苗を宮川流域に放流	10,685,875	600,000	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴの資源の増大と生産の向上を図った。
ノリ養殖業施設整備事業	伊勢湾漁業協同組合	大型ノリ自動乾燥機 9連1台 周辺機器一式（原藻異物除去装置1台 脱水機1台 折曲機1台 温・湿度自動制御装置1台 換気扇3台） 他附帯工事一式	48,321,000	27,611,000	伊勢湾漁協が大型ノリ自動乾燥機を整備して有償貸与し、協業体の黒ノリの安定生産、コスト縮減による経営強化と、地区内ノリ養殖業の協業化の促進を図った。
計	4件	—	72,732,374	31,041,000	—

#### (5) 栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁協が取り組むクルマエビ、ヨシエビ、クロダイ、ヒラメの種苗放流について、放流適地、放流方法について指導した。

なお、平成17年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設（県営）でのクルマエビ、ヨシエビの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上した。

#### (6) 担い手対策

水産業の担い手対策の重要性から水産教室を開催し、水産業の魅力小学生に啓発した。さらに、水産物の安定供給をはじめ、漁業の持つ多面的機能を永続的に十分発揮させるため、平成18年度に「漁業の担い手等を考える会」が漁協主体で発足し、漁業の担い手、新規就業者確保のための方策検討を行っている。

#### (7) アサリ勉強会

伊勢市の漁業の中心であるアサリ採貝漁業は昭和60年頃をピークに経営体数、漁獲量ともに減少の一途をたどっている状況のため、漁協、漁業者と協働で資源確保や生産力向上のために平成21年2月に「アサリ勉強会」を発足させたところであり、問題・課題の把握からその解決策の検討・実施に向けて取り組んでいる。

## ○ 漁港管理関係

### 1 漁港の施設

漁港名	種別	外郭施設		係留施設	
		20年度末 現在	21年度末 現在	20年度末 現在	21年度末 現在
村 松	第1種	1,403 <sup>m</sup>	1,403 <sup>m</sup>	404 <sup>m</sup>	404 <sup>m</sup>
江	第1種	1,564	1,564	261	261
松 下	第1種	502	502	101	101
豊 北	第2種	5,939	5,939	1,784	1,784
大淀(東大淀)	第2種	1,841	1,841	424	424
計	—	11,249	11,249	2,974	2,974

### 2 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する漁港の安全対策や標識灯の点検業務委託を行い施設の機能維持を図った。

#### ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村 松 町 地 内	浮棧橋転落防止ネット設置工事	転落防止ネット 6箇所	円 483,000	21. 6. 5	21. 7. 3
有 滝 町 地 内	豊北漁港海岸車止設置工事	法面工 A=139 m <sup>2</sup> 車止工 N=4 本	241,500	21. 6.16	21. 7. 3
東 大 淀 町 地 内	大淀漁港海岸広場ベンチ修繕工事	ベンチ修繕 N=1.0 基	25,200	21. 7.29	21. 7.31
東 豊 浜 町 地 内	豊北漁港標識灯修繕工事	標識灯修繕 一式	147,000	21.10. 9	21.10.26
二 見 町 江 地 内	江漁港照明灯修繕工事	照明器具 N=1 箇所	26,250	21.10.23	21.10.30
有 滝 町 地 内	豊北漁港標識板・銘板設置工事	漁港標識板文字記入 N=2 枚 銘板設置工 N=1 枚	199,500	22. 2.26	22. 3.12
東 大 淀 町 地 内	大淀漁港休憩所施設修繕工事	軒下修理工 一式 棟押え修理工 一式	136,500	22. 3.15	22. 3.26
東 豊 浜 町 地 内	豊北漁港内舗装工事	舗装工 A=33 m <sup>2</sup>	99,750	22. 3.15	22. 3.19
計	8 件	—	1,358,700	—	—

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
有 滝 町 地 内	豊北漁港社護神線排水 路清掃業務委託	管清掃 一式	円 94,500	21. 9. 3	21. 9. 3
東 豊 浜 町 地 先	豊北漁港標識灯保守点 検業務委託	標識灯点検 N=3 基	68,250	21. 9. 7	21. 9. 18
計	2 件	—	162,750	—	—

ウ 重機借上関係

施行場所	借上重機	金額	着手	完了
有 滝 町 地 内	バックホウ 1 台	円 88,410	21. 12. 10	21. 12. 10

○ 漁港建設関係

1 豊北漁港整備事業

漁業者の就労環境の整備及び高齢者対策を図るため、浮棧橋を設置した。

また、漁具の修理保管用地を確保するため、護岸の設計を行った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有 滝 町 地 内	豊北漁港浮棧橋整備工 事	浮棧橋 N=1 基 連絡橋 N=1 基 係留杭 N=4 本	円 40,417,650	21. 8. 7	22. 2. 19
東 豊 浜 町 地 先	豊北漁港浚渫工事	航路浚渫 V=40,810 m <sup>3</sup> A=13,464 m <sup>2</sup>	(注) 122,815,350	22. 2. 26	22. 9. 10
計	2 件	—	163,233,000	—	—

(注) 平成 22 年度へ一部繰越

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
有 滝 町 地 内	豊北漁港浮棧 橋材料価格調 査業務委託	価格調査業務一式	円 493,500	21. 4. 24	21. 7. 2
〃	豊北漁港用地 護岸測量業務 委託	水準測量 L=600m 路線測量 L=120m 深浅測量 N=11 本 用地測量 A=1.1ha	2,636,550	21. 12. 11	22. 1. 26
〃	豊北漁港用地 護岸地質調査 業務委託	地質調査 L=19.7m (2 箇所)	2,164,050	21. 12. 11	22. 2. 8

有 滝 町 地 内	豊北漁港用地 護岸構造設計 業務委託	沖波の推算 2波向き 護岸設計計算 1構造形式 矢板の細部設計 1タイプ	円 4,575,900	21. 12. 11	22. 3. 12
計	4件	—	9,870,000	—	—

## 2 豊北漁港海岸整備事業

老朽化した堤防を整備し、波浪時の高潮等から背後地を防護するため、海岸整備工事を進めた。

### ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有 滝 町 地 内	豊北漁港海岸 堤防整備工事	堤防工 L=160m	(注1) 円 86,231,250	20. 6. 13	21. 6. 30

(注1) 平成20年度から一部繰越

## 3 村松漁港堤防修繕事業

陥没している堤防を修繕し、波浪・津波等からの背後施設を防護できるようになった。

### ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村 松 町 地 内	村松漁港海岸 堤防修繕工事	矢板護岸 L=6.8m	円 2,968,350	21. 7. 3	21. 9. 30
〃	村松漁港海岸 堤防整備工事	表法被覆工 L=67.2m 裏法被覆工 L=20.5m 小型水路工 L=24.7m 防護柵工 L=28.0m 舗装工 A=448.0 m <sup>2</sup>	24,508,050	21. 10. 9	22. 3. 16
計	2件	—	27,476,400	—	—

### イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村 松 町 地 内	村松漁港海岸 堤防測量設計 業務委託	平板測量 A=5,000 m <sup>2</sup> 路線測量 L=50m 堤防設計 一式	円 1,155,000	21. 7. 21	21. 9. 8

## 4 大淀漁港整備事業

明和町と伊勢市の共有航路に土砂が堆積し、漁船の航行に支障をきたしているため、土砂を浚渫し漁船の安全航行を図った。これにかかる経費の一部を、昭和53年3月31日締結の「大淀漁港の整備及び施設の維持管理に要する費用の分担等に関する協定書」に基づき、負担した。

施行場所	事業主体	事業量	事業費	負担金
明 和 町 大 淀 地 先	明 和 町	航路浚渫 V=5,346 m <sup>3</sup> A=4,880 m <sup>2</sup>	円 18,298,350	円 1,727,000

## ○ 緊急雇用対策関係

### 1 遊休農地対策事業

市内には、平成 18 年度に実施した調査を基にした 76.8ha の遊休農地が存在するが、毎年農地転用や担い手の不足等により推移しているため、これを一筆ごとに調査し、草刈などを実施すれば即営農可能な土地、何らかの措置を講じれば営農再開が可能な土地、営農再開が不可能な土地などの段階に分けて、地図及びデータとしてまとめた。また、調査で遊休農地とした該当地の所有者へ、今後の活用についての意向調査を実施した。

雇用形態	雇用期間	雇用人数
直接雇用	H21. 6. 1～H21. 9. 30	2 人

事業費 1,503,465 円

### 2 林業振興事業

路面等の老朽化が著しく、機能が損なわれている林道は、放置すると災害や事故に結びつく可能性があるため、災害や事故を未然に防ぎ、通行者の安全に寄与するべく、市内に 16 ある林道の機能の維持向上・安全管理を図った。

雇用形態	雇用期間	雇用人数
直接雇用	H21. 6. 1～H21. 7. 31	2 人

事業費 789,628 円

### 3 森林病虫害防除事業

海岸の防風林では伐倒くん蒸処理された被害木が林内に積まれたまま放置された状態であるため、植林や下刈等の管理に支障をきたしている。このため、放置された処理木の集積・処分を行い景観の向上及び松林の機能維持保全を図った。

雇用形態	雇用期間	雇用人数
直接雇用	H21. 6. 1～H21. 9. 30	4 人

事業費 3,156,321 円

## ○ 災害復旧関係

### 1 農地・農業用施設災害復旧事業

平成 21 年 10 月 7 日から 8 日にかけて発生した台風 18 号により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。

#### ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
鹿海町内 地内	16-1 屋根シート防水復旧工事	外部足場工事 一式 防水復旧工事 一式	円 1,029,000	22. 1. 18	22. 3. 15

## 2 林業用施設災害復旧事業

平成 21 年 10 月 7 日から 8 日にかけて発生した台風 18 号により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。

### ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
朝 熊 町 地 内	絆の森法面崩落土砂撤去工事	土砂撤去 5.5m	円 52,500	21.11.13	21.12.4
二見町茶屋 地 内	音無山照明灯復旧工事	照明灯復旧 1基	630,000	21.11.24	21.12.25
矢 持 町 地 内	農林漁業体験実習館法面復 旧工事	法面復旧 一式	637,350	21.12.1	21.12.25
計	3件	—	1,319,850	—	—

### イ 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
矢 持 町 地 内	農林漁業体験実習館倒木処 理業務委託	倒木処理 1本	円 42,000	21.10.8	21.10.16
二見町今一色 地 内	二見保安林倒木処理業務委託	倒木処理 3本	94,500	21.10.14	21.10.30
上 野 町 地 内 ほか	倉ヶ谷林道ほか倒木処理業 務委託	倒木処理 2本	57,750	21.10.27	21.11.11
二見町茶屋 地 内	音無山倒木処理業務委託	倒木処理 3箇所	714,000	21.12.2	21.12.25
二見町西 地 内	二見保安林倒木復旧業務委 託	倒木復旧 A=1.1ha	934,500	21.12.24	22.2.19
計	5件	—	1,842,750	—	—

## 3 漁港災害復旧事業

平成 21 年 10 月 7 日から 8 日にかけて発生した台風 18 号により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。

### ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
有 滝 町 地 内	豊北漁港支柱修繕工事	支柱 N=1本	円 94,500	21.10.21	21.10.30

## ○ 他課関係依頼工事

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

### ア 工事関係

所 属	施行場所	工 事 名	工事概要	金 額
産 業 支 援 課	朝 熊 町 地 内	サンサポートスクエア 照明灯設置工事	照明灯設置 N=5 基	円 2,545,200
観 光 事 業 課	中 島 2 丁 目 地 内 ほか	第 57 回 全 国 花 火 大 会 施 設 工 事	放揚施設工事 一式 会場周辺安全施設工事 一式 場内施設工事 一式 栈敷工事 一式 雑工事 一式 施設撤去、原形復旧一式	9,028,950
〃	〃	第 57 回 全 国 花 火 大 会 電 気 設 備 工 事	電話・電灯設備 一式 仮設工事 一式 施設撤去 一式	1,881,600
生 涯 学 習 ・ ス ポ ー ツ 課	楠 部 町 地 内	倉 田 山 公 園 野 球 場 ス タ ン ド フ ェ ン ス 設 置 工 事	スタンドフェンス工 L=25.0m	1,400,700
消 防 本 部 消 防 課	大 湊 町 地 内 ほか	防 火 水 槽 防 火 井 戸 蓋 改 修 工 事	防火水槽 マンホール取替工 4箇所 防火井戸 マンホール取替工 2箇所	1,381,800
〃	岩 瀨 1 丁 目 地 内	防 火 井 戸 閉 塞 工 事	防火井戸閉塞 1箇所	252,000
〃	御 藪 町 高 向 地 内	防 火 井 戸 蓋 改 修 工 事	防火井戸蓋替工 1箇所	315,000
〃	御 藪 町 高 向 地 内 ほか	消 防 水 利 標 識 設 置 工 事	標識設置 11箇所	273,000
計	8 件	—	—	17,078,250

### イ 委託関係

所 属	施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額
消 防 本 部 消 防 課	二 見 町 西 地 内	防 火 井 戸 撤 去 に 伴 う 測 量 調 査 業 務 委 託	N=1 箇所	円 1,593,900



# 観 光 企 画 課

平成 21 年度は、従来にも増して観光を取り巻く世情がめまぐるしく動きました。中でも平成 21 年 2 月より伊勢神宮内宮に架かる宇治橋の架け替えがはじまり、3 月 20 日には近鉄、阪神の相互直通運転開始、3 月 28 日からは E T C 休日特別割引開始、5 月には新型インフルエンザ流行、7 月には熊野古道世界遺産登録 5 周年、7 月 15 日には J R 紀勢線 50 周年、8 月中旬以降にも新型インフルエンザが再び猛威を奮い、9 月のシルバーウィーク、11 月 3 日には宇治橋渡始式がありました。

伊勢市の入込み客数は、伊勢神宮参拝者数が平成 21 年で約 798 万人。対前年約 48 万人 (6.4%) 増加しました。総数では平成に入ってからでは平成 6 年に次ぐ 3 番目に多い参拝者を記録。内宮に関しては、初めて 600 万人の大台を超え、中でも休日 (正月土日祝日) 参拝者数が前年に比べ増加するなど、日本各地で入込み客が落ち込む中、健闘した結果となっています。しかし、施設利用者数、周辺市町の入込み・宿泊者数が減少するなど、景気動向と並行し非常に厳しい状況となっています。

## ○ 観光施設管理運営事業

### 1 平家の里施設管理事業

辺地対策として、昭和 57 年度から 63 年度にかけて新産業構造改善事業 (自然活用型) により建設された本施設について、指定管理者期間満了 (平成 21 年 3 月 31 日) に伴う公募をかけましたが応募が無く、次期指定管理者が決まらなかったため、平成 21 年 4 月 1 日より運営を休止し、現在地元と協議しています。

## ○ もてなし心醸成事業

### 1 伊勢活性化プロジェクト事業

伊勢を訪れる人々にどのように満足して過ごしていただくか、いかに日本及び世界に「伊勢」を発信していくか、そのためにはどのような体制で伊勢の観光まちづくりを展開していけばよいかについて、市民、事業者、団体、行政がみんなで考え、そして実行につなげようと、平成 19 年 9 月に「伊勢観光活性化プロジェクト会議」を設置し活動しています。今年度も前年度に引き続き「人」「食」「環境」の 3 つのテーマを掲げ、メンバー同士が連携を取り、市民力で伊勢を元気にするような取り組みを行っています。11 月にはメンバー有志から、伊勢の観光施策の中核基盤組織となるような会社を立ち上げようという声上がり、会議運営を行う世話人会で検討をすすめています。

<伊勢観光活性化プロジェクト会議経過>

回数	開催日	内容
第 17 回	4/16	1年間の振り返りと今後について
第 18 回	4/28	「外宮さんにちなんだどんぶりを創ろう」事業について
第 19 回	5/12	部会報告・ホームページ入力方法講習 など
第 20 回	6/16	部会報告 など
第 21 回	7/16	部会報告・会計委員会設置について など
第 22 回	8/18	部会報告・会社検討の状況報告 など
第 23 回	8/31	会社検討の状況報告・商品開発会社設立について
第 24 回	9/17	部会報告 など
第 25 回	10/20	部会報告 など
第 26 回	11/17	会計委員会支出のルールについて観光活性化プロジェクト会議の会社について
第 27 回	12/10	21年の振り返り
第 28 回	1/19	今後の会議の進めかたについて、観光事業会社（仮称）について
第 29 回	2/16	今後の会議の進めかたについて
第 30 回	3/16	今後の会議の進めかたについて、会議を盛り上げる方法について

## 2 外宮さんにちなんだどんぶり事業

平成 20 年度に伊勢観光活性化プロジェクト会議で検討された当事業について、地元食材を使用したメニュー開発を通じた地元商店などの活性化を目的に、伊勢商工会議所協力により地域資源∞全国展開プロジェクトとして日本商工会議所の補助を受け実施しました。

食の神様「外宮さん」にちなんだどんぶり「御饌井（みけどん）」を通じた地域活性化・誘客事業で、実行委員会でのメニュー開発および登録店舗による独自メニューの開発、取扱店舗の拡充と継続を行いました〔事業主体：外宮さんにちなんだどんぶりを創ろう実行委員会（事務局：伊勢商工会議所／市は事務局補助）〕。

### （1）「外宮さんにちなんだどんぶりコンテスト」実施

- ・メニュー公募（平成 21 年 4～6 月）

応募用紙に基づく書類選考を行い、388 件の応募の中から決勝コンテスト出場 6 者を選定。

- ・決勝コンテスト開催（平成 21 年 8 月 1 日）

①試食審査 10：00～12：00 いせトピア

②プレゼンテーション審査（公開：観覧者 164 名）14：00～16：00 市民活動センター

※最優秀賞作品は実行委員会開発メニュー「どん井火」として普及用に改良。

### （2）外宮さんにちなんだどんぶり「御饌井（みけどん）」誕生イベント開催

平成 21 年 10 月 15 日の外宮神嘗祭にあわせて、外宮北御門前 NTT 跡地において、実行委員会開発メニュー御饌井「どん井火」の試食（300 食）およびアンケートを実施しました。

### （3）「御饌井（みけどん）」取り扱い店舗募集

平成 21 年 10 月には伊勢市内を対象に、実行委員会開発メニュー「どん井火」および「御饌井」の定義を満たすオリジナルメニューを開発する店舗の募集を行い販売を開始しました（登録 20 店舗）。

#### (4) 普及啓発

平成 21 年 12 月 時点の内容を基にマップ、ポスター、チラシを作成し、各所に配布・掲示するとともに、東京日本橋（12 月 16～18 日）、メディア交流会（東京 2 月 4 日・大阪 2 月 17 日）で PR を行いました。

(5) 販売実績 11 月～1 月の 3 箇月間で総計 3,241 食

### 3 バリアフリー観光向上事業

本業務は、伊勢市内の観光施設において、観光客や観光関係者のニーズに対応するため、バリアフリーの観点からその実態調査を行う委託業務であり、伊勢市の観光施設、宿泊施設、恒例行事、祭事のバリアフリー調査、公共交通機関のバリアフリー調査等を実施したものです。

平成 21 年 6 月 5 日契約

契約先 特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリースーツアースセンター

契約額 2,000,000 円

施行期間 平成 21 年 6 月 5 日～平成 22 年 3 月 25 日

## ○ 旅客誘致受入宣伝事業

### 1 観光情報発信事業

#### (1) ホームページを活用した情報発信

インターネットを活用して、(社)伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行っています。平成 21 年 10 月 1 日にはホームページ開設以来、初めての全面リニューアルを実施しました。

【平成 14 年 3 月開設 平成 22 年 3 月末累計数 2,257,835 件〔1 日平均 780.7 件〕（携帯電話からのアクセス件数含む）】

年度	アクセス数 (件) (携帯電話含む)	稼働日数 (日)	一日平均 (件)
13	999	7	142.7
14	77,936	365	213.5
15	106,076	365	290.6
16	132,977	365	364.3
17	214,240	359	596.8
18	350,359	365	959.9
19	436,068	366	1191.4
20	444,759	365	1218.5
21	494,421	335	1475.9
合計	2,257,835	2,892	780.7

※システム移行により平成 21 年 9 月のアクセス数は算出不能

このため、平成 21 年度の数値は 11 箇月分の合計値となっています

(2) 雑誌宣伝広告等による誘致活動

新聞や雑誌等の広告を通じて情報発信を行うものです。伊勢志摩観光コンベンション機構、三重県、周辺市町、伊勢志摩キャンペーン等において実施する広告と地域が重複しないよう、棲み分けを行い実施しました。また、一般的には広告の費用対効果が図り難いことから、広告読者等へのパンフレット送付依頼への誘導と問合せ件数等を一指標とし、効果が高い媒体への掲載を行いました。

	媒体名	掲載日	備考
1	E L F 5月号	4.20	福岡県
2	p o r o c o 5月号	4.20	北海道
3	ノンルージュ 5月号	4.25	北海道
4	京都CF! 6月号	5. 1	京都府
5	N A G I	6. 1	三重県
6	中日新聞	6.10	岐阜県版
7	E L F 7月号	6.20	福岡県
8	p o r o c o 7月号	6.20	北海道
9	旬刊旅行新聞	6.21	全国
10	中日新聞 shopper	6.25	名古屋市
11	LaPorte 夏号	6.25	福岡県
12	京都CF! 8月号	7. 1	京都府
13	t o m a t o 7月号	7. 1	広島県
14	オントナ	7. 8	北海道
15	奈良新聞	7.11	奈良県
16	聖教新聞	7.11	東海版
17	週刊まつもと	7.17	長野県 (伊勢志摩共同)
18	モダンタイムス	7.20	神戸市 (伊勢志摩共同)
19	C o m f y 9月号	7.20	長野県
20	E L F 8月号	7.20	福岡県
21	L e a f 9月号	7.25	京都府 (伊勢志摩共同)
22	a . u n 8月号	7.31	静岡県
23	ノンルージュ 9月号	8.25	北海道
24	ママンペール秋号	8.31	広島県
25	t o m a t o 9月号	9. 1	広島県
26	朝日新聞	9.12	東海4件 (伊勢志摩共同)
27	C o m f y 11月号	9.20	長野県
28	K o m a c h i	9.25	長野県 (伊勢志摩共同)
29	a . u n 10月号	9.30	静岡県
30	お伊勢さん 宇治橋ものがたり	10. 1	

	媒体名	掲載日	備考
31	D o ! s u l	10.15	長野県 (北信地方)
32	E L F 11月号	10.20	福岡県
33	p o r o c o 11月号	10.20	北海道
34	旬刊旅行新聞	10.21	全国
35	ノンルージュ 11月号	10.25	北海道
36	オントナ	10.28	北海道
37	おしゃべりBOX	11. 1	北海道
38	オントナ	11.11	北海道
39	E L F 12月号	11.20	福岡県
40	a . u n 12月号	11.30	静岡県
41	ハイウェイマップ	12月	全国
42	オントナ	12. 2	北海道
43	九州王国 1月号	12.15	九州各県
44	週刊まつもと	12.18	長野県 (中信地方)
45	信濃毎日新聞	1. 3	長野県
46	p o r o c o 2月号	1.20	北海道
47	ノンルージュ 2月号	1.25	北海道
48	a . u n 2月号	1.31	静岡県
49	t o m a t o 2月号	2. 1	広島県
50	オントナ	2. 3	北海道
51	j o g g e r s	2. 7	関東
52	中日新聞	2.28	中部7県
53	週刊まつもと	3. 5	長野県 (中信地方)
54	オントナ	3.10	北海道
55	週刊いいだ	3.11	長野県 (南信地方)
56	D o ! s u l	3.18	長野県 (北信地方)
57	E L F 4月号	3.19	福岡県
58	ぐらんざ 4月号	3.31	福岡県
59	a . u n 4月号	3.31	静岡県

観光企画課からの個人及び旅行会社等へのパンフレット発送件数は1,426件（21年度）  
【20年度1,081件・19年度527件・18年度522件】

### （3）遠方・重点地域誘客強化事業

平成25年の遷宮に向けた観光入込客増大を目的に、市場動向から開拓の遅れている地域を重点地域として設定し誘客強化を図る事業で、21年度は静岡県、長野県への誘客として新たに広告事業も展開しました。また、認知度が低く公共交通機関利用が主となる来訪機会が少なかった北海道や九州地域等の遠方市場開拓を継続し、21年度は新たに中国地方への展開を開始。具体的には、20年度配布を北海道、東北、九州に限った「伊勢おもてなしクーポン」の配布エリアを市内クーポン協力業者、旅行会社のニーズに従い中国・四国へも拡大し、これをもとに各地域主要旅行会社への営業活動により旅行商品化を図るとともに、雑誌媒体等からの需要喚起を図りました。

#### 【伊勢おもてなしクーポン】

（21年度）配布数・・・740件－6,491部（企業、個人等含む）

利用実績・・・延べ796件

旅行商品化・・・JTB（中国・四国、九州、北海道）、ANA、JR九州

日本旅行（中国・四国、九州）、クラブツーリズム（九州）

k n t（中国・四国）等

（20年度）配布数・・・462件（企業、個人等含む）

利用件数・・・951件（延べ数）

旅行商品化・・・JTB、ANA、日本旅行、k n tほか

### （4）三重県協働事業

20年度に引き続き、三重県の行う観光施策に合わせた事業展開を図りました。市場動向に対応させるため、タイムリーな取組みに努めました。愛知、岐阜、長野、福井のタウン誌9社17名に対し、各社媒体への情報掲載を条件に現地取材ツアー実施のほか、二見浦の魅力向上などをテーマに各種事業を実施するとともに、観光PR事業を展開しました。

## 2 広域連携事業

### （1）広域観光振興事業にかかる各種協議会への参画

伊勢熊野観光連絡協議会・（社）三重県観光連盟・（財）伊勢志摩国立公園協会・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・（社）日本観光協会・歴史街道推進協議会・伊勢志摩学生団体誘致委員会・全国街道交流会議・全国夫婦岩サミット連絡協議会・津伊勢観光振興協議会に参画。

### 3 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業

17年度から引き続き、平成25年の第62回神宮式年遷宮に向けた誘客の一環として伊勢の旅行商品の開発、旅行会社向け資料を作成。今年度は特に新規企画として二見浦への立寄り促進のほか、20年度の新規企画の流通と促進を行いました。また、観光プロデュース機能として伊勢市観光政策担当顧問を配置しました。

### 4 各種集大会等誘致開催補助事業

市内の集会施設を利用し、市内に宿泊することを原則とした県大会規模以上の各種集大会の誘致を図るため、本市で開催された集大会について、各種集大会等誘致開催補助金を交付しました。

(市内での宿泊1人1泊あたり300円の補助)

期 日	大 会 名	延参加人員 (人)	延宿泊人員 (人)	会 場	交付確定金額 (円)
5. 4 ～ 5	第2回 PURO CUP	600	136	伊勢市朝熊山麓フットボール場 (人工芝)	40,000
7. 18 ～19	修道 FC スポーツ少年団 創立30周年記念招待試合	1,160	162	伊勢市朝熊フットボール場 (人工芝グラウンド)	40,000
7. 23 ～26	第62回全日本9人制バレーボール実業団男子選手権大会	2,745	1,629	三重県営サンアリーナ・三重県営体育館	400,000
7. 26 ～28	2009 プレインターハイユース 交流大会 IN 三重	900	260	伊勢市朝熊山麓公園フットボール場	70,000
8. 1 ～ 3	ソシエタフェスティバル	750	314	伊勢市朝熊人工芝サッカー場	90,000
9. 19 ～20	第5回 JFA 三重ガールズサッカーフェスティバル IN 伊勢志摩	600	106	伊勢市朝熊山麓フットボール場	30,000
9. 25	「なごみ」バレーボール親睦交流会 IN 三重	56	46	三重県営陸上競技場	10,000
10. 3 ～ 4	神宮奉納全国 ラグビー伊勢大会	703	207	朝熊山公園芝生競技場	60,000
11. 7 ～ 8	女子U15 東海トレセン	160	72	伊勢市朝熊山麓フットボール場	20,000
11. 15	第6回 NH カップ 東海ユース U-11・U-12 8人制サッカー大会	340	170	伊勢朝熊山麓人工芝球技場	50,000
12. 23 ～25	第3回おいないカップユース サッカー大会	600	138	伊勢市朝熊山麓フットボール場	40,000
12. 26 ～28	第13回伊勢市中学生 サッカーフェスティバル大会	871	39	朝熊山麓人工芝球技場、天然芝グラウンド、港中学校、倉田山中学校	10,000
2. 4 ～ 5	2010年伊勢初蹴り交流戦	235	235	県営サンアリーナ 朝熊山人工芝グラウンド	70,000
2. 6 ～ 7	第38回東海クラブバスケットボール選手権大会	450	155	県営総合競技場体育館	40,000
2. 12	ママさんバレー・ことぶき 第 10回親善交流大会 in 伊勢	229	102	伊勢かぐらば「千の杜」 県営サンアリーナ・サブ体育館	30,000
3. 13 ～14	第1回 FC TREVO 招待 TREVO CUP	470	154	伊勢市朝熊山麓フットボール場	40,000

3.20 ～22	第13回伊勢市高校 サッカーフェスティバル	1,140	301	朝熊山麓公園人工芝フット ボール場 朝熊山麓公園新芝生球技場	90,000
3.27 ～29	朝熊招待ユースサッカー大会 2010春	1,050	213	伊勢市朝熊山麓フットボ ール場	60,000
計	18件	13,059	4,439	—	1,190,000

## 5 伊勢志摩広域観光活性化事業

### (1) (社)伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客による活性化のため、(社)伊勢志摩観光コンベンション機構(平成6年3月設立、平成14年11月名称変更、平成18年4月社団法人化)に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業・フィルムコミッション事業、地域観光圏整備事業を展開しました。

### (2) 伊勢志摩キャンペーン事業

10月から3月まで、三重県・伊勢志摩地域・近畿日本鉄道(株)などと共同で「伊勢志摩キャンペーン」を実施し、東京・大阪・名古屋地区等において、伊勢志摩の観光PRを実施。ガイドブック、チラシ、ポスターを作成し、近鉄沿線や旅行会社等へ配布して、伊勢志摩地域の情報発信及び旅行会社とタイアップによる誘客を展開しました。

### (3) 伊勢志摩地域観光圏整備事業

地域観光圏整備事業は国土交通省が観光圏整備法に基づき、観光地が広域的に連携した「観光圏」の整備を行うことで、国内外の観光客が2泊3日以上滞在できるエリア形成を目的に、全国で16地域を選定し、伊勢志摩地域も選定されたことから20年度より各種事業を実施しています。本市としては、市民力推進事業、「伊勢への旅の魅力構築」フォーラム形式のイベント実施事業等を行いました。

## 6 外国人観光客誘致推進事業

伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会が、昨年に引き続き中国で観光客の誘致活動を実施するにあたり、本市においても外国人観光客誘致活動を行ってきたところです。平成17年7月25日より、中国国内の団体旅行ビザの発行区域が全土へ拡大したため、中国は大きな訪日旅行マーケットとなっていますが、景気動向、原油価格の変動、新型インフルエンザ流行等によりその状況は刻一刻と変化しています。そんな中で、平成21年4月には三重県と協働で韓国ミッションに参加し、11月には官民合同で中国(北京)観光客誘致ミッションへ参加しました。また、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会実施の中国滞在型冬季訪日ゴルフパック商品造成事業、三重県外国人観光客誘致促進協議会、東海地区外国人観光客誘致促進協議会等へ参画しました。

## ○ その他

### 1 観光行事等への後援

各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行いました。

開催日等	名称
5. 3～17	第19回朝熊山つつじ祭
8. 23	ミュージックヘヴン伊勢
9. 13	第54回ミス伊勢志摩選定会
10月中の1日間	子どもパークレンジャー事業
① 9. 6～10. 31 のうち7日間 ② 11. 1～3	① 公開リレー講座「お蔭講座」 ② 第5回平成のお蔭参り「伊勢まで歩講」
10. 12	第7回全国夕陽サミット
12. 6	パエリャコンクール in 志摩
12. 13	検定お伊勢さん
2. 13	地域の映像文化を担う人づくり事業
3. 20	志摩S1グランプリ王座決定戦
3月末～5月末	必笑！ふおとこんてすと2010～春の陣～
22. 6. 24～25	第8回伊勢神宮奉納グラウンドゴルフ大会

### 2 ふるさと雇用再生特別基金事業

雇用情勢の厳しい地域の実情に応じた雇用再生のために求職者等の雇用機会を創出する事業で、平成23年度末までの事業です。

#### (1) 観光地における災害避難マニュアル作成モデル事業

市内最大の観光地「おはらい町」で災害発生時の災害避難マニュアルを作成し、災害時に従業員および住民がスムーズに観光客を誘導できるような仕組みづくりを実施します。

委託先：伊勢おはらい町会議

委託金額：5,665,953円

委託期間：平成21年7月21日～平成22年3月31日

#### (2) 伊勢市観光推進事業

観光客誘致の推進のため、市内の観光情報を総括する地元密着型のホームページを作成するとともに、伊勢を訪れた観光客のニーズ調査を実施し、着地型旅行商品等を企画します。

委託先：社団法人 伊勢市観光協会

委託金額：5,295,256円

委託期間：平成21年7月21日～平成22年3月31日



# 観 光 事 業 課

## ○ もてなし心醸成事業関係

### 1 年末年始旅客の受入対策

平成 18 年度から、地元 15 団体による伊勢おもてなし会を設立し外宮前、外宮参道、伊勢市駅前広場を中心にかがり火、外宮参道ライトアップ、ふるまい等で初詣客におもてなしをした。

伊勢市観光協会としては、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇を行い、大晦日に内宮、外宮で年越餅を各 4,000 個配布した。

### 2 スポーツ関連行事もてなし事業

#### (1) 秩父宮賜杯第 41 回全日本大学駅伝対校選手権記念大会

11 月 1 日（日）に熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前の 8 区間 106.8km を結ぶ大会が開催された。市内 8 の太鼓団体が沿道で選手を歓迎応援し、ゴール地点の内宮前にて景気花火を放揚するなど選手及び観客をもてなした。

#### (2) お伊勢さん健康マラソン大会

11 月 29 日（日）に開催されたお伊勢さん健康マラソン大会のおもてなし部門として、新たな試みである「お伊勢さんチケット」を作成。例年伊勢うどんやぜんざいなどをふるまっていたが、各選手のニーズに対応できるよう、大会会場の物産展やおはらい町の一部店舗で使用可能な金券を参加特典として進呈した。また、旭湯と伊勢かぐらばリゾート千の杜に協力していただき、大会参加者に入浴案内をし、大会会場からシャトルバスでの送迎をした。

沿道では、市内 9 の太鼓団体が選手の応援をした。

#### (3) 第 3 回美し国三重市町対抗駅伝

2 月 21 日（日）に津市県庁前から伊勢市にある県営総合競技場までの 10 区間 42.195km を結ぶ大会が開催された。市内沿道に歓迎・応援用のぼりを設置した。また、市内 12 の太鼓団体が沿道で応援した他、地元のローカルヒーロー、イセシマンをはじめ 9 地区約 20 体のご当地キャラクターが競技場を賑わせ、ゴールした選手を出迎えた。

## ○ 観光一般事業関係

### 1 観光案内所の運営

外宮前、宇治山田駅構内及び二見観光案内所における運營業務を（社）伊勢市観光協会に委託した。また、外宮前、宇治山田駅構内観光案内所は三重県では少ない外国人観光案内所（V案内所）に指定されており、外国人旅行者に対しても観光案内の提供を行なっている。

委託金額 8,235,000 円（契約期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(1) 外宮前観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	4,882	7,627	4,105	4,907	6,082	8,105	6,023	7,302	5,117	9,394	5,720	9,164	78,428
外国人件数	242	164	120	152	270	130	191	165	99	79	88	211	1,911

(2) 宇治山田駅構内観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	2,214	2,619	1,662	2,057	2,615	2,594	2,124	2,355	1,681	3,254	2,259	2,796	28,230
外国人件数	71	54	35	60	73	63	29	41	15	32	22	36	531

(3) 二見観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	285	296	247	264	317	314	250	242	315	482	467	357	3,836
外国人件数	9	1	0	7	6	6	1	3	2	1	2	17	55

2 (社) 伊勢市観光協会への活動支援

平成4年に社団法人化された伊勢市観光協会は、昭和25年に宇治山田市観光協会として設立されて以来、行政と営利を目的とする観光関係事業者を中心とした民間企業との中間的な存在で、旅客誘致に係るイベント実施や観光宣伝など、様々な分野で弾力的・柔軟的に活動している。

平成21年度は、財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援として、5,860,000円を助成した。

## ○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 明かり行事事業

内宮周辺の夜の町を賑やかにしようと設立した、伊勢おはらい町会議を中心とする「伊勢ヨイ夜ナ」実行委員会が、10月23日(金)24日(土)の2日間、伊勢神宮内宮前おはらい町界限において、「伊勢ヨイ夜ナ」を開催した。

平成21年で5回目を迎えた本事業は、市民参加型行事として、ヨイ夜ナサポーター（ロウソクカップの設置・撤去ボランティア）が、内宮前や五十鈴川河川、おはらい町界限、宇治館町内に約5,000個のロウソクカップを設置した。

集客数 14,500人

外宮地区においては、「第12回外宮さんゆかたで千人お参り」が8月1日(金)に、外宮にぎわい会議が中心となり、神宮参道と神路通りにろうそくを並べ、外宮周辺で様々な催しを開催した。

また、浴衣姿での参拝も定着し、近年は浴衣持参の観光客も増えてきている。

外宮参拝者1,930人（うち ゆかた着用671人）

## 2 観月会

10月3日(土)午後5時から外宮勾玉池を中心に全国から応募のあった短歌と俳句、舞楽が公開された。また約500名が観月茶会に参加し幽玄な世界を楽しんだ。

## 3 2009年第29回世界新体操選手権

9月7日(月)～13日(日)まで三重県営サンアリーナで「2009年第29回世界新体操選手権」が開催され、組織委員会事務局に職員1名を派遣し、市内の関係機関との調整、広報活動、応援組織と選手向けのプレゼントの作成などを行った。

大会期間中は、世界50の国と地域から約600名の選手・役員が参加し、18,600名が世界の頂点を目指す演技を観覧しました。

## 4 伊勢フットボールビレッジ構想

当初の7面での整備計画を5面に変更するよう構想の見直しを検討した。

伊勢サッカー協会及び二見町再生委員会との協力し、平成22年2月20日(土)に少年女子チームの試合「お雛さまカップ」を開催した。

## 5 第52回全日本花いっぱい伊勢大会【平成21年5月30日(土)31日(日)】

町を花いっぱいにして社会を美しく、明るく、住みよくし、平和な理想郷を建設することを目的とした「花いっぱい運動」の全国大会を伊勢で開催した。また、伊勢楽市と同時開催し、お互いにPRをして旅客誘致を図った。

サンアリーナ特設会場のメインイベント以外にも、外宮勾玉池、神宮ばら園、二見しょうぶロマンの森、横輪桜の郷をサテライト会場とし、市内広範囲で関連イベントを開催した。

外宮参道にて第2回美し国三重「寄せ植え」コンテスト(主催:三重県種苗園芸協会)【29日(金)、30日(土)31日(日)】、伊勢市観光文化会館にて伊勢生花協会展(八流派による共演)【30日(土)、31日(日)】と假屋崎省吾講演会(主催:特定非営利法人まなびの広場)【30日(土)】、ハートプラザ御菌にてフィリップ・キムピアノコンサート(主催:NPO法人ライフアカデミー事務局)【31日(日)】、朝熊山麓フットボール場にて花照ちゃんカップサッカー(主催:第52回全日本花いっぱい伊勢大会実行委員会・NPO法人伊勢サッカー協会)【30日(土)、31日(日)】を開催。

来場者数 花いっぱい伊勢大会主催行事:38,600人

関連イベント合計:93,462人

## 6 La Festa Primavera 2009

1997年に原宿～横浜元町を結ぶクラシックカーラリーとして誕生した「La Festa Mille Miglia ラ・フェスタ ミッレ・ミリア」の姉妹イベントとして、大阪～三重～京都～奈良～大阪を結ぶ新たなクラシックカーラリーであるLa Festa Primaveraの第一回大会のスタンプポイントとして、内宮・おはらい町通りを「走る遺産」と呼ばれるクラシックカーが72台通過した。

伊勢神宮内宮には4月20日（月）午前8時頃到着後宇治橋前に一度集合し、おはらい町を走り抜けた。イベントの安全管理について、主催者側と市職員、地元企業で協力して車両誘導と歩行者誘導を行なった。

#### 7 おもてなしスキルアップ事業

近年増えている伊勢を訪れる外国人観光客に対し、現在のおもてなし体制では対応がしきれないため、伊勢市観光活性化プロジェクト人部会と連携して、外国人観光客に特化したおもてなしを考え、実行することにより、外国人観光客の伊勢への満足度を高め、リピーターや口コミ等での観光客増加促進運動をしていく。この内容については、実行委員会を立ち上げ、計画・運営していくために、準備会を設立し、来年度実行委員会設立に向けて検討した。

#### 8 西条だんじり来勢

11月7日（土）、8日（日）に宇治橋の架け替えを奉祝し、総数23台、1200名の規模で西条のだんじりが来勢した。伊勢市観光協会を中心に西条だんじり受入実行委員会を組織し、おもてなしや周辺の警備、地元住民との調整等を行なった。

#### 9 伊勢大田楽

11月15日（日）に宇治橋の架け替えを奉祝し、楽劇大田楽が来勢。内宮にて中世日本に存在した田楽という芸能に、日本各地の伝統芸能や音楽、さらには西洋の動きや音楽を取り入れて創作された新たな演劇を披露。その会場設営の補助や地元住民との調整を行なった。また、おはらい町通りにロウソクを立て点灯し、夜のおはらい町を演出した。

### ○ 観光行事振興事業関係

#### 1 宇治橋架け替え奉祝記念第57回伊勢神宮奉納全国花火大会【平成21年7月18日（土）】

北は秋田県から南は鹿児島県の全国各地から選抜された52の花火師が参加する競技花火大会で、打上花火の部52組、スターマインの部10基の2部門で競われ、競技大会ならではの格調、質ともに全国トップレベルの花火玉約9,000発が打ち上げられた。

平成21年度には、昨年に引き続き多くの方に情報発信ができるように、携帯版ホームページを更新した。また、「競技花火大会」ということを感じてもらうため、花火師1人1人の写真とそれぞれの花火に採点ができるよう、採点欄を記載したプログラムを作成した。

大会中盤には、平成25年の第62回神宮式年遷宮行事の一つとして行われる宇治橋の架け替えを奉祝したスターマインを放揚した。今回もNPO団体の協力により、113名のボランティアが、ごみの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行い環境に配慮した大会運営に努めた。

観客数 220,000人

#### 2 春まつり【平成21年4月1日（火）～10日（木）】

日本のさくら名所百選の宮川堤において、（社）伊勢市観光協会が主になって運営し、宮川保勝会の協力により、夜桜のライトアップとぼんぼりで花見客を迎えた。

来場者 20,000人

### 3 日本観光交流・伊勢会議

6月5日（金）6日（土）に「第5回日本観光交流・伊勢会議及び第42回観光祈願祭」を開催し、ANAセールス株式会社取締役会長の北林克比古氏の基調講演や全国の観光関係事業者等による、グループディスカッションを行ったほか、2日目のエクスカーションでは神宮を参拝した。

### 4 伊勢楽市

【第20回：平成21年5月30日（土）・31日（日）、第21回：10月31日（土）・11月1日（日）】

（社）伊勢市観光協会の協会員を中心とした、楽市実行委員会が滞在型観光による伊勢市駅前の活性化と地場産業の振興を図るため、外宮周辺にて、伊勢市及び近隣市町村の地場産品、農林水産物、工芸品の販売及びPRを「市」という形で実施している。5月の第20回は、第52回全日本花いっぱい伊勢大会の関連イベントとして同時開催し、互いに情報発信をした。

5月、62業者（114ブース（うち2件がPRブース））来場者 70,000人

11月、64業者（118ブース）来場者 70,000人

## ○ 伝統文化推進事業

### 1 神嘗祭奉祝事業【平成21年10月14日（水）～16日（金）】

14日（水）の夜にはサンアリーナにて神嘗晦日祭（前夜祭）を、15日（木）には外宮前「お木曳の道」（県道伊勢南島線）にて神嘗奉祝事業として奉納祭饗演を行った。徳島県の「阿波踊り」、山形県の「花笠踊り」、沖縄県の「沖縄エイサー」、岐阜県の「郡上おどり」、秋田県の「西馬音内盆踊り」など日本の三大民謡、三大パレード、三大盆踊りが揃った。また、15日（木）・16日（金）には、伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳が実施された。

観客数延べ 112,500人 参加人数 4,470人

### 2 民俗伝統行事推進事業

平成25年に行なわれる第62回神宮式年遷宮に向けた諸行事の情報発信をした。また、平成21年度は宇治橋架け替えの年であり、11月3日（祝）に新橋が完成した。新橋の完成を奉祝するとともに、観光資源として御遷宮の意義を広く全国に発信した。

また、11月3日に宇治橋渡始め国民総参宮を実施。新橋の完成に感動をもって奉祝し、市観光大使、市観光御師を先頭に宇治橋を渡った。また、その日の午後8時から、奉祝提灯行列を実施し、神宮の夜間参拝を行った。

国民総参宮 参加人数 25,000人

奉祝提灯行列 参加人数 1,100人

## ○ 協力・協働による観光関連事業関係

### 1 観光行事等への後援

市内開催の各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行った。

開催日	名称
21. 5. 5 (月)	倭姫宮春の大祭奉祝行事
5. 3 (日) ~ 10. 4 (日) 毎月第1日曜日	チャリティーREGGAEイベント 「GHETTO RED HOT」
5. 30 (土) ~ 5. 31 (日)	第25回どんどこ祭り
5. 30 (土) ~ 5. 31 (日)	第20回伊勢楽市
6. 19 (金) ~ 6. 24 (水)	創業190年記念「伊勢神宮至宝展」
6. 20 (土) ~ 6. 22 (月)	第7回全国まちづくり交流会 in 二見浦
7. 14 (火)	第25回二見大祭しめなわ曳
7. 21 (火) ~ 7. 22 (水)	第1回伊勢市長杯ユースサッカー大会
7. 25 (土)	神宮奉納伊勢薪能
7. 26 (日) ~ 7. 28 (火)	2009 プレインターハイユース交流大会 IN 三重
8. 1 (土)	第12回「外宮さんゆかたで千人お参り」
8. 17 (月)	2009 プロアマ・オープンゲーム巨人(二軍) vs Honda 鈴鹿
9. 5 (土)	一色能こども教室仕舞発表会
9. 7 (月) ~ 9. 13 (日)	2009年第29回世界新体操選手権三重大会
9. 10 (木)	宇治橋架け替え奉祝 きたやまおさむ講演会
9. 12 (土) ~ 9. 13 (日)	第七回 神恩感謝 日本太鼓祭
9. 20 (日)	伊勢の伝統の能楽まつり
10. 3 (土)	観月会
10. 3 (土) ~ 4 (日)	第4回全国惑ラグビー伊勢大会
10. 14 (水) ~ 15 (木)	第9回神嘗奉祝祭「祭りのまつり」
10. 17 (土) ~ 18 (日)	神宮奉納 全国生涯野球チャ・アップ伊勢大会
10. 23 (金) ~ 24 (土)	伊勢ヨイ夜ナ
10. 24 (土)	大仏山公園オータムフェスティバル
10. 30 (金) ~ 12. 20 (日)	企画展「伊勢の遷宮Ⅲ 遷宮上人と宇治橋」
10. 31 (土) ~ 11. 1 (日)	第21回伊勢楽市
10. 31 (土) ~ 11. 30 (月)	企画展「宇治橋ものがたり」
11. 1 (日)	秩父宮杯第41回全日本大学駅伝対抗選手権記念大会
11. 5 (木)	「倭姫宮秋の大祭」奉祝行事
11. 7 (土)	読売日本交響楽団と皇學館大学による奉納コンサート
11. 7 (土) ~ 11. 8 (日)	西条だんじり
11. 15 (日)	猿田彦神社七五三祭
11. 15 (日)	伊勢大田楽
12. 13 (日)	第21回記念伊勢民謡まつり
12. 23 (水・祝) ~ 12. 25 (金)	第3回おいな杯ユースサッカー大会
12. 28 (月) ~ 22. 1. 1 (金)	第37回伊勢迄歩講
22. 1. 31 (日)	宇治橋架け替え奉祝記念 旅のフォーラム
2. 12 (金) ~ 2. 13 (土)	第10回記念大会「ことぶきバレーボール交流会 in 伊勢」
2. 16 (火) ~ 2. 22 (月)	第八回「伊勢神宮展」
2. 21 (日)	第三回いせしま綱曳き大会
3. 20 (土) ~ 3. 22 (月・祝)	第13回伊勢市高校サッカーフェスティバル
3. 27 (土) ~ 3. 29 (月)	朝熊招待サッカー大会 2010 春
3. 28 (土) ~ 4. 5 (日)	五十鈴川桜まつり